

第 13 章 都市計画対象道路事業に係る環境影響の総合的な評価

本環境影響評価では、都市計画対象道路事業について、影響要因の区分である「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び併用」に関し、環境要素の 15 項目（大気質、騒音、振動、低周波音、水質、水象、地形及び地質、日照障害、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財、廃棄物等）を選定し、調査、予測及び評価を実施した。

予測の結果、「低周波音」及び「日照障害」の 2 項目については、著しい環境影響を及ぼすことはないため、事業者の実行可能な範囲で回避又は低減が図られるものと評価する。

その他の項目（大気質、騒音、振動、水質、水象、地形及び地質、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財、廃棄物等）については、必要な環境保全措置を実施することで環境影響を回避・低減しているものと考えられ、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られるものと評価する。さらに、「動物」「植物」及び「生態系」については、環境影響が著しいものとなるおそれがあるため、環境影響評価法に基づく事後調査を実施し、専門家等の指導・助言を得ながら適切な措置を講ずることとする。また、「水質」「水象」については、専門家等の意見を聞き、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときに、環境影響評価法に基づく事後調査を実施し、専門家等の指導・助言を得ながら適切な措置を講ずることとする。

また、今後の本事業における詳細な計画検討に当たっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に十分配慮して行う。内容を詳細なものにする必要がある環境保全措置については、詳細な設計及び事後調査等の結果を踏まえ、これまでの調査結果や専門家等の意見を踏まえて措置の内容を十分検討する。本事業の実施に伴う環境影響及び環境保全措置の内容について、工事説明会等の場を活用して、地域住民等に対し丁寧な説明に努める。

なお、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家等の指導・助言を得ながら調査を実施し、適切な措置を講ずることとする。

表 13-1(1)環境影響評価結果の総合的な評価																																																																																																																																																					
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果				環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																												
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																			
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	存在・供用 (自動車の走行)	＜二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）＞ 二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）の調査結果は以下のとおりである。 ●二酸化窒素の濃度の調査結果 [単位：ppm] <table><tr><th colspan="2">調査地点</th><th>二酸化窒素 (年平均値)</th></tr><tr><td>北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)</td><td>0.006</td></tr><tr><td>大久保集落センター</td><td>0.005</td></tr><tr><td>田原公民館</td><td>0.004</td></tr><tr><td>原新田公民館</td><td>0.003</td></tr></table> ●浮遊粒子状物質の濃度の調査結果 [単位：mg/m ³] <table><tr><th colspan="2">調査地点</th><th>浮遊粒子状物質 (年平均値)</th></tr><tr><td>北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)</td><td>0.012</td></tr><tr><td>大久保集落センター</td><td>0.011</td></tr><tr><td>田原公民館</td><td>0.010</td></tr><tr><td>原新田公民館</td><td>0.011</td></tr></table>	調査地点		二酸化窒素 (年平均値)	北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)	0.006	大久保集落センター	0.005	田原公民館	0.004	原新田公民館	0.003	調査地点		浮遊粒子状物質 (年平均値)	北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)	0.012	大久保集落センター	0.011	田原公民館	0.010	原新田公民館	0.011	計画路線の二酸化窒素の予測値は0.00370～0.00616ppm、浮遊粒子状物質の予測値は0.01002～0.01201mg/m ³ である。 ●二酸化窒素の予測結果（計画路線の予測） [単位：ppm] <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値（年平均値）</th><th rowspan="2">計</th><th rowspan="2">寄与率 (%)</th></tr><tr><th>道路寄与濃度</th><th>バックグラウンド濃度</th></tr><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂 (大田切)</td><td>東側</td><td>0.00014</td><td>0.006</td><td>0.00614</td><td>2</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00016</td><td>0.006</td><td>0.00616</td><td>3</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.00016</td><td>0.006</td><td>0.00616</td><td>3</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00051</td><td>0.005</td><td>0.00551</td><td>9</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.00009</td><td>0.005</td><td>0.00509</td><td>2</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00053</td><td>0.004</td><td>0.00453</td><td>12</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>東側</td><td>0.00040</td><td>0.004</td><td>0.00440</td><td>9</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00070</td><td>0.003</td><td>0.00370</td><td>19</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>東側</td><td>0.00073</td><td>0.003</td><td>0.00373</td><td>20</td></tr></table> 注：計画路線及び既存道路からの道路寄与濃度は、道路敷地境界の地上1.5mにおける値である。 ●浮遊粒子状物質の予測結果（計画路線の予測） [単位：mg/m ³] <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値（年平均値）</th><th rowspan="2">計</th><th rowspan="2">寄与率 (%)※</th></tr><tr><th>道路寄与濃度</th><th>バックグラウンド濃度</th></tr><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂 (大田切)</td><td>東側</td><td>0.00001</td><td>0.012</td><td>0.01201</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00001</td><td>0.012</td><td>0.01201</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.00001</td><td>0.012</td><td>0.01201</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00003</td><td>0.011</td><td>0.01103</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.00001</td><td>0.011</td><td>0.01101</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00002</td><td>0.010</td><td>0.01002</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>東側</td><td>0.00002</td><td>0.010</td><td>0.01002</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00002</td><td>0.011</td><td>0.01102</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>東側</td><td>0.00002</td><td>0.011</td><td>0.01102</td><td>0</td></tr></table> ※：寄与率0%は、0.5%未満を示す。 注：計画路線及び既存道路からの道路寄与濃度は、道路敷地境界の地上1.5mにおける値である。				予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)	道路寄与濃度	バックグラウンド濃度	駒ヶ根市赤穂 (大田切)	東側	0.00014	0.006	0.00614	2	西側	0.00016	0.006	0.00616	3	宮田村大田切	東側	0.00016	0.006	0.00616	3	西側	0.00051	0.005	0.00551	9	宮田村大久保	西側	0.00009	0.005	0.00509	2	西側	0.00053	0.004	0.00453	12	伊那市下殿島	東側	0.00040	0.004	0.00440	9	西側	0.00070	0.003	0.00370	19	伊那市原新田	東側	0.00073	0.003	0.00373	20	予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)※	道路寄与濃度	バックグラウンド濃度	駒ヶ根市赤穂 (大田切)	東側	0.00001	0.012	0.01201	0	西側	0.00001	0.012	0.01201	0	宮田村大田切	東側	0.00001	0.012	0.01201	0	西側	0.00003	0.011	0.01103	0	宮田村大久保	西側	0.00001	0.011	0.01101	0	西側	0.00002	0.010	0.01002	0	伊那市下殿島	東側	0.00002	0.010	0.01002	0	西側	0.00002	0.011	0.01102	0	伊那市原新田	東側	0.00002	0.011	0.01102	0	＜環境保全措置＞ 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関しては「二酸化窒素に係る環境基準について」の環境基準及び「大気の汚染に係る環境基準について」の環境基準を下回ると考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 			
				調査地点		二酸化窒素 (年平均値)																																																																																																																																															
				北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)	0.006																																																																																																																																																
				大久保集落センター	0.005																																																																																																																																																
				田原公民館	0.004																																																																																																																																																
				原新田公民館	0.003																																																																																																																																																
				調査地点		浮遊粒子状物質 (年平均値)																																																																																																																																															
				北の原いきいき交流センター (町四区北の原集落センター)	0.012																																																																																																																																																
				大久保集落センター	0.011																																																																																																																																																
				田原公民館	0.010																																																																																																																																																
原新田公民館	0.011																																																																																																																																																				
予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)																																																																																																																																																
		道路寄与濃度	バックグラウンド濃度																																																																																																																																																		
駒ヶ根市赤穂 (大田切)	東側	0.00014	0.006	0.00614	2																																																																																																																																																
	西側	0.00016	0.006	0.00616	3																																																																																																																																																
宮田村大田切	東側	0.00016	0.006	0.00616	3																																																																																																																																																
	西側	0.00051	0.005	0.00551	9																																																																																																																																																
宮田村大久保	西側	0.00009	0.005	0.00509	2																																																																																																																																																
	西側	0.00053	0.004	0.00453	12																																																																																																																																																
伊那市下殿島	東側	0.00040	0.004	0.00440	9																																																																																																																																																
	西側	0.00070	0.003	0.00370	19																																																																																																																																																
伊那市原新田	東側	0.00073	0.003	0.00373	20																																																																																																																																																
	予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)※																																																																																																																																															
道路寄与濃度			バックグラウンド濃度																																																																																																																																																		
駒ヶ根市赤穂 (大田切)	東側	0.00001	0.012	0.01201	0																																																																																																																																																
	西側	0.00001	0.012	0.01201	0																																																																																																																																																
宮田村大田切	東側	0.00001	0.012	0.01201	0																																																																																																																																																
	西側	0.00003	0.011	0.01103	0																																																																																																																																																
宮田村大久保	西側	0.00001	0.011	0.01101	0																																																																																																																																																
	西側	0.00002	0.010	0.01002	0																																																																																																																																																
伊那市下殿島	東側	0.00002	0.010	0.01002	0																																																																																																																																																
	西側	0.00002	0.011	0.01102	0																																																																																																																																																
伊那市原新田	東側	0.00002	0.011	0.01102	0																																																																																																																																																

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																													
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																																																																																																																																	
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	存在・供用 (自動車の走行)	< 気象の状況（風向・風速の年間データ） > 気象の状況（風向・風速の年間データ）の調査結果は以下のとおりである。 ●風向・風速の調査結果 <table><thead><tr><th>調査地点</th><th>最多風向 (16方位)</th><th>平均風速 (m/s)</th></tr></thead><tbody><tr><td>北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）</td><td>S</td><td>2.3</td></tr><tr><td>大久保集落センター</td><td>N</td><td>2.3</td></tr><tr><td>田原公民館</td><td>S</td><td>2.3</td></tr><tr><td>原新田公民館</td><td>SSW</td><td>2.3</td></tr><tr><td>伊那地域気象観測所</td><td>S</td><td>2.5</td></tr></tbody></table>	調査地点	最多風向 (16方位)	平均風速 (m/s)	北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）	S	2.3	大久保集落センター	N	2.3	田原公民館	S	2.3	原新田公民館	SSW	2.3	伊那地域気象観測所	S	2.5	既存道路の影響を考慮した二酸化窒素の予測値は0.00376～0.00654ppm、浮遊粒子状物質の予測値は0.01004～0.01202mg/m³である。 ●二酸化窒素の予測結果 (既存道路の影響を考慮した予測) [単位:ppm] <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値（年平均値）</th><th rowspan="2">計</th><th rowspan="2">寄与率 (%)</th></tr><tr><th>道路寄与濃度</th><th>バックグラウンド濃度</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>東側</td><td>0.00054</td><td>0.006</td><td>0.00654</td><td>8</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00019</td><td>0.006</td><td>0.00619</td><td>3</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.00019</td><td>0.006</td><td>0.00619</td><td>3</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00052</td><td>0.005</td><td>0.00552</td><td>9</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村中越</td><td>西側</td><td>0.00009</td><td>0.005</td><td>0.00509</td><td>2</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00053</td><td>0.004</td><td>0.00507</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>東側</td><td>0.00041</td><td>0.004</td><td>0.00481</td><td>9</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00076</td><td>0.003</td><td>0.00376</td><td>20</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>東側</td><td>0.00079</td><td>0.003</td><td>0.00379</td><td>21</td></tr></tbody></table> 注：計画路線及び既存道路からの道路寄与濃度は、道路敷地境界の地上1.5mにおける値である。 ●浮遊粒子状物質の予測結果 (既存道路の影響を考慮した予測) [単位:mg/m³] <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値（年平均値）</th><th rowspan="2">計</th><th rowspan="2">寄与率 (%)※</th></tr><tr><th>道路寄与濃度</th><th>バックグラウンド濃度</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>東側</td><td>0.00002</td><td>0.012</td><td>0.01202</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00001</td><td>0.012</td><td>0.01201</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.00001</td><td>0.012</td><td>0.01201</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00003</td><td>0.011</td><td>0.01103</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.00003</td><td>0.011</td><td>0.01103</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00001</td><td>0.011</td><td>0.01101</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村中越</td><td>西側</td><td>0.00001</td><td>0.011</td><td>0.01101</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00002</td><td>0.010</td><td>0.01005</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>東側</td><td>0.00002</td><td>0.010</td><td>0.01004</td><td>0</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.00003</td><td>0.011</td><td>0.01103</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>東側</td><td>0.00003</td><td>0.011</td><td>0.01103</td><td>0</td></tr></tbody></table> ※：寄与率0%は、0.5%未満を示す。 注：計画路線及び既存道路からの道路寄与濃度は、道路敷地境界の地上1.5mにおける値である。	予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)	道路寄与濃度	バックグラウンド濃度	駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.00054	0.006	0.00654	8	西側	0.00019	0.006	0.00619	3	宮田村大田切	東側	0.00019	0.006	0.00619	3	西側	0.00052	0.005	0.00552	9	宮田村中越	西側	0.00009	0.005	0.00509	2	西側	0.00053	0.004	0.00507	10	伊那市下殿島	東側	0.00041	0.004	0.00481	9	西側	0.00076	0.003	0.00376	20	伊那市原新田	東側	0.00079	0.003	0.00379	21	予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)※	道路寄与濃度	バックグラウンド濃度	駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.00002	0.012	0.01202	0	西側	0.00001	0.012	0.01201	0	宮田村大田切	東側	0.00001	0.012	0.01201	0	西側	0.00003	0.011	0.01103	0	宮田村大久保	西側	0.00003	0.011	0.01103	0	西側	0.00001	0.011	0.01101	0	宮田村中越	西側	0.00001	0.011	0.01101	0	西側	0.00002	0.010	0.01005	0	伊那市下殿島	東側	0.00002	0.010	0.01004	0	西側	0.00003	0.011	0.01103	0	伊那市原新田	東側	0.00003	0.011	0.01103	0		●浮遊粒子状物質の評価結果（計画路線の予測） [単位：mg/m³] <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th>評価値</th><th rowspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>日平均値の年間2%除外値</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>東側</td><td>0.0327</td><td rowspan="6">1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。</td><td rowspan="6">基準との整合が図られている。</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0327</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.0327</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>西側</td><td>0.0285</td><td rowspan="2">0.0285</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0285</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>西側</td><td>0.0306</td><td rowspan="2">0.0306</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0306</td></tr></tbody></table> 注：環境基準は、「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年5月8日 環境庁告示第25号）による環境基準である。 ●二酸化窒素の評価結果 (既存道路の影響を考慮した予測) [単位：ppm] <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th>評価値</th><th rowspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>日平均値の年間98%値</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>東側</td><td>0.0175</td><td rowspan="6">1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。</td><td rowspan="6">基準との整合が図られている。</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0171</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.0171</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0160</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.0155</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>西側</td><td>0.0155</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>西側</td><td>0.0146</td><td rowspan="2">0.0144</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0144</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>西側</td><td>0.0133</td><td rowspan="2">0.0133</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0133</td></tr></tbody></table> 注：環境基準は、「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年7月11日 環境庁告示第38号）による環境基準である。 ●浮遊粒子状物質の評価結果 (既存道路の影響を考慮した予測) [単位:mg/m³] <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th><th>評価値</th><th rowspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>日平均値の年間2%除外値</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>東側</td><td>0.0327</td><td rowspan="6">1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。</td><td rowspan="6">基準との整合が図られている。</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0327</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td>東側</td><td>0.0327</td></tr><tr><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>西側</td><td>0.0306</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td>西側</td><td>0.0285</td><td rowspan="2">0.0285</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0285</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td>西側</td><td>0.0306</td><td rowspan="2">0.0306</td></tr><tr><td>東側</td><td>0.0306</td></tr></tbody></table> 注：環境基準は、「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年5月8日 環境庁告示第25号）による環境基準である。	予測地点		評価値	環境基準	評価	日平均値の年間2%除外値	駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0327	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準との整合が図られている。	西側	0.0327	宮田村大田切	東側	0.0327	西側	0.0306	宮田村大久保	西側	0.0306	宮田村中越	西側	0.0306	伊那市下殿島	西側	0.0285	0.0285	東側	0.0285	伊那市原新田	西側	0.0306	0.0306	東側	0.0306	予測地点		評価値	環境基準	評価	日平均値の年間98%値	駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0175	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	基準との整合が図られている。	西側	0.0171	宮田村大田切	東側	0.0171	西側	0.0160	宮田村大久保	西側	0.0155	宮田村中越	西側	0.0155	伊那市下殿島	西側	0.0146	0.0144	東側	0.0144	伊那市原新田	西側	0.0133	0.0133	東側	0.0133	予測地点		評価値	環境基準	評価	日平均値の年間2%除外値	駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0327	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準との整合が図られている。	西側	0.0327	宮田村大田切	東側	0.0327	西側	0.0306	宮田村大久保	西側	0.0306	宮田村中越	西側	0.0306	伊那市下殿島	西側	0.0285	0.0285	東側	0.0285	伊那市原新田	西側	0.0306	0.0306	東側	0.0306
				調査地点	最多風向 (16方位)	平均風速 (m/s)																																																																																																																																																																																																																																																													
				北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）	S	2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
				大久保集落センター	N	2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
				田原公民館	S	2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
				原新田公民館	SSW	2.3																																																																																																																																																																																																																																																													
				伊那地域気象観測所	S	2.5																																																																																																																																																																																																																																																													
				予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)																																																																																																																																																																																																																																																										
						道路寄与濃度	バックグラウンド濃度																																																																																																																																																																																																																																																												
				駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.00054	0.006	0.00654	8																																																																																																																																																																																																																																																										
西側	0.00019	0.006	0.00619		3																																																																																																																																																																																																																																																														
宮田村大田切	東側	0.00019	0.006	0.00619	3																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00052	0.005	0.00552	9																																																																																																																																																																																																																																																														
宮田村中越	西側	0.00009	0.005	0.00509	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00053	0.004	0.00507	10																																																																																																																																																																																																																																																														
伊那市下殿島	東側	0.00041	0.004	0.00481	9																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00076	0.003	0.00376	20																																																																																																																																																																																																																																																														
伊那市原新田	東側	0.00079	0.003	0.00379	21																																																																																																																																																																																																																																																														
	予測地点		予測値（年平均値）		計	寄与率 (%)※																																																																																																																																																																																																																																																													
道路寄与濃度			バックグラウンド濃度																																																																																																																																																																																																																																																																
駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.00002	0.012	0.01202	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00001	0.012	0.01201	0																																																																																																																																																																																																																																																														
宮田村大田切	東側	0.00001	0.012	0.01201	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00003	0.011	0.01103	0																																																																																																																																																																																																																																																														
宮田村大久保	西側	0.00003	0.011	0.01103	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00001	0.011	0.01101	0																																																																																																																																																																																																																																																														
宮田村中越	西側	0.00001	0.011	0.01101	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00002	0.010	0.01005	0																																																																																																																																																																																																																																																														
伊那市下殿島	東側	0.00002	0.010	0.01004	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	西側	0.00003	0.011	0.01103	0																																																																																																																																																																																																																																																														
伊那市原新田	東側	0.00003	0.011	0.01103	0																																																																																																																																																																																																																																																														
	予測地点		評価値	環境基準	評価																																																																																																																																																																																																																																																														
日平均値の年間2%除外値																																																																																																																																																																																																																																																																			
駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0327	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準との整合が図られている。																																																																																																																																																																																																																																																															
	西側	0.0327																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大田切	東側	0.0327																																																																																																																																																																																																																																																																	
	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大久保	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村中越	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市下殿島	西側	0.0285	0.0285																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0285																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市原新田	西側	0.0306	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
予測地点		評価値	環境基準	評価																																																																																																																																																																																																																																																															
		日平均値の年間98%値																																																																																																																																																																																																																																																																	
駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0175	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	基準との整合が図られている。																																																																																																																																																																																																																																																															
	西側	0.0171																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大田切	東側	0.0171																																																																																																																																																																																																																																																																	
	西側	0.0160																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大久保	西側	0.0155																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村中越	西側	0.0155																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市下殿島	西側	0.0146	0.0144																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0144																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市原新田	西側	0.0133	0.0133																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0133																																																																																																																																																																																																																																																																	
予測地点		評価値	環境基準	評価																																																																																																																																																																																																																																																															
		日平均値の年間2%除外値																																																																																																																																																																																																																																																																	
駒ヶ根市赤穂（大田切）	東側	0.0327	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準との整合が図られている。																																																																																																																																																																																																																																																															
	西側	0.0327																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大田切	東側	0.0327																																																																																																																																																																																																																																																																	
	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村大久保	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
宮田村中越	西側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市下殿島	西側	0.0285	0.0285																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0285																																																																																																																																																																																																																																																																	
伊那市原新田	西側	0.0306	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																
	東側	0.0306																																																																																																																																																																																																																																																																	

表 13-1 (3)環境影響評価結果の総合的な評価																																																																																																																										
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																				
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																								
大気質	粉じん等	工事の実施 （建設機械 の稼働）	＜気象の状況（風向・風速の季節別データ）＞ 気象の状況（風向・風速の季節別データ） は、「自動車の走行に係る大気質」に示すと おりである。	予測値は、0.7～9.1t/km ² /月である。 ●粉じん等の予測結果 [単位：t/km ² /月] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="4">予測値</th></tr><tr><th>夏季</th><th>秋季</th><th>冬季</th><th>春季</th></tr><tr><td>駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>4.6</td><td>6.6</td><td>9.1</td><td>6.5</td></tr><tr><td>宮田村大田切</td><td>0.7</td><td>0.7</td><td>0.7</td><td>0.7</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.9</td><td>1.3</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>6.5</td><td>7.3</td><td>8.4</td><td>8.1</td></tr><tr><td>伊那市下殿島</td><td>1.6</td><td>1.9</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>伊那市原新田</td><td>2.2</td><td>3.3</td><td>3.5</td><td>2.8</td></tr></table> 注：工事敷地境界（道路敷地境界）の地上1.5mにおける値である。	予測地点	予測値				夏季	秋季	冬季	春季	駒ヶ根市赤穂（大田切）	4.6	6.6	9.1	6.5	宮田村大田切	0.7	0.7	0.7	0.7	宮田村大久保	1.0	1.1	1.9	1.3	宮田村中越	6.5	7.3	8.4	8.1	伊那市下殿島	1.6	1.9	2.0	2.0	伊那市原新田	2.2	3.3	3.5	2.8	＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>作業方法への配慮</td></tr><tr><td>位置</td><td>建設機械が稼働する場所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>建設機械の複数同時稼働・高負荷運転を極力避ける等により、粉じん等の発生の低減が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>散水</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事により出現する法面や裸地</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>発生源に散水することにより、粉じんを効果的に抑制できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> ＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	作業方法への配慮	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果		建設機械の複数同時稼働・高負荷運転を極力避ける等により、粉じん等の発生の低減が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	散水	位置	工事により出現する法面や裸地	環境保全措置の効果		発生源に散水することにより、粉じんを効果的に抑制できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「作業方法への配慮」及び「散水」を実施することで、環境負荷を低減している。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、降下ばいじん量は全ての予測地点で参考値を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。 ●粉じん等の評価結果 [単位：t/km ² /月] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="4">予測値</th><th rowspan="2">参考値</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>夏季</th><th>秋季</th><th>冬季</th><th>春季</th></tr><tr><td>駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td>4.6</td><td>6.6</td><td>9.1</td><td>6.5</td><td rowspan="6">10</td><td rowspan="6">目標との整合が図られている。</td></tr><tr><td>宮田村大田切</td><td>0.7</td><td>0.7</td><td>0.7</td><td>0.7</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>1.0</td><td>1.1</td><td>1.9</td><td>1.3</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>6.5</td><td>7.3</td><td>8.4</td><td>8.1</td></tr><tr><td>伊那市下殿島</td><td>1.6</td><td>1.9</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>伊那市原新田</td><td>2.2</td><td>3.3</td><td>3.5</td><td>2.8</td></tr></table> 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）の地上1.5mにおける値である。 注2：参考値は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所）による降下ばいじん量の値である。	予測地点	予測値				参考値	評価	夏季	秋季	冬季	春季	駒ヶ根市赤穂（大田切）	4.6	6.6	9.1	6.5	10	目標との整合が図られている。	宮田村大田切	0.7	0.7	0.7	0.7	宮田村大久保	1.0	1.1	1.9	1.3	宮田村中越	6.5	7.3	8.4	8.1	伊那市下殿島	1.6	1.9	2.0	2.0	伊那市原新田	2.2	3.3	3.5	2.8
予測地点	予測値																																																																																																																									
	夏季	秋季	冬季	春季																																																																																																																						
駒ヶ根市赤穂（大田切）	4.6	6.6	9.1	6.5																																																																																																																						
宮田村大田切	0.7	0.7	0.7	0.7																																																																																																																						
宮田村大久保	1.0	1.1	1.9	1.3																																																																																																																						
宮田村中越	6.5	7.3	8.4	8.1																																																																																																																						
伊那市下殿島	1.6	1.9	2.0	2.0																																																																																																																						
伊那市原新田	2.2	3.3	3.5	2.8																																																																																																																						
実施主体		長野県																																																																																																																								
実施内容	種類	作業方法への配慮																																																																																																																								
	位置	建設機械が稼働する場所																																																																																																																								
環境保全措置の効果		建設機械の複数同時稼働・高負荷運転を極力避ける等により、粉じん等の発生の低減が見込まれる。																																																																																																																								
効果の不確実性		なし																																																																																																																								
他の環境への影響		特になし																																																																																																																								
実施主体		長野県																																																																																																																								
実施内容	種類	散水																																																																																																																								
	位置	工事により出現する法面や裸地																																																																																																																								
環境保全措置の効果		発生源に散水することにより、粉じんを効果的に抑制できる。																																																																																																																								
効果の不確実性		なし																																																																																																																								
他の環境への影響		特になし																																																																																																																								
予測地点	予測値				参考値	評価																																																																																																																				
	夏季	秋季	冬季	春季																																																																																																																						
駒ヶ根市赤穂（大田切）	4.6	6.6	9.1	6.5	10	目標との整合が図られている。																																																																																																																				
宮田村大田切	0.7	0.7	0.7	0.7																																																																																																																						
宮田村大久保	1.0	1.1	1.9	1.3																																																																																																																						
宮田村中越	6.5	7.3	8.4	8.1																																																																																																																						
伊那市下殿島	1.6	1.9	2.0	2.0																																																																																																																						
伊那市原新田	2.2	3.3	3.5	2.8																																																																																																																						

表 13-1 (4)環境影響評価結果の総合的な評価																																																																																																																																				
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																														
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																		
大気質	粉じん等	工事の実施 （資材及び 機械の運搬 に用いる車 両の運行）	＜気象の状況（風向・風速の季節別データ）＞ 気象の状況（風向・風速の季節別データ） は、「自動車の走行に係る大気質」に示すと おりである。	予測値は、1.1～5.2t/k㎡/月である。 ●粉じん等の予測結果 [単位：t/k㎡/月] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="4">予測値</th></tr><tr><th>夏 季</th><th>秋 季</th><th>冬 季</th><th>春 季</th></tr><tr><td>村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td>3.3</td><td>3.2</td><td>2.4</td><td>2.2</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td>1.7</td><td>1.6</td><td>1.3</td><td>1.1</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td>2.7</td><td>5.2</td><td>3.7</td><td>3.2</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td>2.2</td><td>2.5</td><td>1.8</td><td>1.6</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td>2.8</td><td>4.6</td><td>2.6</td><td>2.2</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td>2.8</td><td>4.9</td><td>3.2</td><td>2.9</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）</td><td>3.2</td><td>3.0</td><td>2.3</td><td>2.1</td></tr></table> 注：工事敷地境界（道路敷地境界）の地上1.5mにおける値である。	予測地点	予測値				夏 季	秋 季	冬 季	春 季	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	3.3	3.2	2.4	2.2	一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	1.7	1.6	1.3	1.1	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	2.7	5.2	3.7	3.2	一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	2.2	2.5	1.8	1.6	主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	2.8	4.6	2.6	2.2	一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	2.8	4.9	3.2	2.9	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	3.2	3.0	2.3	2.1	＜環境保全措置＞ 事業実施段階において、現地条件等を勘案 して既存道路の交通量等を考慮した運行ルー トを選定する等、具体的な対応を検討する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事用車両の洗車</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事施工範囲内</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>タイヤ洗浄装置等を用い て、洗車することにより、 粉じんが抑制される。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事の分散</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事施工範囲内</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>一定の期間及び地域での 工事の集中を避けること により、粉じんが抑制さ れる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>騒音、振動への影響が軽 減される。</td></tr></table> ＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであ り、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果 に係る知見が十分に把握されていると判断で き、効果の不確実性は小さいと考えられるこ とから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事用車両の洗車	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果		タイヤ洗浄装置等を用い て、洗車することにより、 粉じんが抑制される。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事の分散	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果		一定の期間及び地域での 工事の集中を避けること により、粉じんが抑制さ れる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		騒音、振動への影響が軽 減される。	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地 をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対 象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図ってい る。また、環境保全措置として「工事用車両の洗車」及 び「工事の分散」を実施することで、環境負荷を低減し ている。このことから、環境影響は事業者の実行可能な 範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評 価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、降下ばいじん量は全ての予測地点で参 考値を下回っており、基準等との整合は図られているも のと評価する。 ●粉じん等の評価結果 [単位：t/k㎡/月] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="4">予測値</th><th rowspan="2">参 考 値</th><th rowspan="2">評 価</th></tr><tr><th>夏 季</th><th>秋 季</th><th>冬 季</th><th>春 季</th></tr><tr><td>村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td rowspan="7">10</td><td rowspan="7">目 標 と の 整 合 が 図 ら れ て い る。</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車 場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線 沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯 田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td>0.1</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿 道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td>0.1</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地 先）</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr></table> 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）の地上1.5mにおける値である。 注2：予測値は、環境保全措置後の予測結果を示す。 注3：参考値は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合 研究所資料第714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所） による降下ばいじん量の値である。	予測地点	予測値				参 考 値	評 価	夏 季	秋 季	冬 季	春 季	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.2	0.2	0.1	0.1	10	目 標 と の 整 合 が 図 ら れ て い る。	一般県道栗林宮田停車 場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.1	0.1	0.1	0.1	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.1	0.3	0.2	0.2	一般県道車屋大久保線 沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.1	0.1	0.1	0.1	主要地方道伊那生田飯 田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.1	0.2	0.1	0.1	一般県道沢渡高遠線沿 道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.1	0.2	0.2	0.1	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地 先）	0.2	0.2	0.1	0.1
予測地点	予測値																																																																																																																																			
	夏 季	秋 季	冬 季	春 季																																																																																																																																
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	3.3	3.2	2.4	2.2																																																																																																																																
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	1.7	1.6	1.3	1.1																																																																																																																																
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	2.7	5.2	3.7	3.2																																																																																																																																
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	2.2	2.5	1.8	1.6																																																																																																																																
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	2.8	4.6	2.6	2.2																																																																																																																																
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	2.8	4.9	3.2	2.9																																																																																																																																
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	3.2	3.0	2.3	2.1																																																																																																																																
実施主体		長野県																																																																																																																																		
実施内容	種類	工事用車両の洗車																																																																																																																																		
	位置	工事施工範囲内																																																																																																																																		
環境保全措置の効果		タイヤ洗浄装置等を用い て、洗車することにより、 粉じんが抑制される。																																																																																																																																		
効果の不確実性		なし																																																																																																																																		
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																		
実施主体		長野県																																																																																																																																		
実施内容	種類	工事の分散																																																																																																																																		
	位置	工事施工範囲内																																																																																																																																		
環境保全措置の効果		一定の期間及び地域での 工事の集中を避けること により、粉じんが抑制さ れる。																																																																																																																																		
効果の不確実性		なし																																																																																																																																		
他の環境への影響		騒音、振動への影響が軽 減される。																																																																																																																																		
予測地点	予測値				参 考 値	評 価																																																																																																																														
	夏 季	秋 季	冬 季	春 季																																																																																																																																
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.2	0.2	0.1	0.1	10	目 標 と の 整 合 が 図 ら れ て い る。																																																																																																																														
一般県道栗林宮田停車 場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																																																
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.1	0.3	0.2	0.2																																																																																																																																
一般県道車屋大久保線 沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																																																
主要地方道伊那生田飯 田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.1	0.2	0.1	0.1																																																																																																																																
一般県道沢渡高遠線沿 道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.1	0.2	0.2	0.1																																																																																																																																
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地 先）	0.2	0.2	0.1	0.1																																																																																																																																

表 13-1 (5)環境影響評価結果の総合的な評価															
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果			環境保全措置及び事後調査		評価結果						
	環境要素 の区分	影響要因 の区分													
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	工事の実施 （建設機械の稼働）	＜二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）＞ 二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）は、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。 ＜気象の状況（風向・風速の年間データ）＞ 気象の状況（風向・風速の年間データ）は、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。	二酸化窒素の予測値は0.0056～0.0123ppm、浮遊粒子状物質の予測値は0.01023～0.01262mg/m ³ である。			＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果		＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「排出ガス対策型建設機械の採用」及び「作業方法への配慮」を実施することで、環境負荷を低減している。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内で行える限り回避又は低減されているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、二酸化窒素の建設機械による寄与濃度及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の建設機械による寄与濃度及び日平均値の年間2%除外値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。工事実施に当たっては、地元への工事の説明を十分に行い、建設機械稼働時間等に関する要求があった場合は、可能な限り応じて周辺住民の負担にならないように努力する。						
				●二酸化窒素の予測結果 [単位：ppm]			実施主体			長野県					
				予測地点	種別	予測値(年平均値)		寄与率 (%)		日平均値の年間98%値	実施内容	種類	排出ガス対策型建設機械の採用		
						建設機械寄与濃度	計					位置	建設機械が稼働する場所		
				駒ヶ根市赤穂（大田切）			掘削工	0.0063		0.0123	51	0.024	環境保全措置の効果	排出ガス対策型建設機械の採用により、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が抑制される。	
				宮田村大田切			盛土工	0.0053		0.0113	47	0.023		効果の不確実性	なし
				宮田村大久保			盛土工	0.0032		0.0082	39	0.019	他の環境への影響	特になし	
				宮田村中越			掘削工	0.0057		0.0107	53	0.022			
				伊那市下殿島			盛土工	0.0031		0.0071	44	0.017	実施主体		長野県
				伊那市原新田			盛土工	0.0026		0.0056	46	0.015			
								位置	建設機械が稼働する場所						
環境保全措置の効果			停車中の車両等のアイドリングを止める、建設機械の複数同時稼働・高負荷運転を極力避ける等により、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の排出量あるいは最大排出量の低減が見込まれる。												
効果の不確実性			なし												
他の環境への影響			特になし												
＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。															

表 13-1 (6)環境影響評価結果の総合的な評価																									
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果		環境保全措置及び事後調査		評価結果																	
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																							
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	工事の実施 （資材及び機械の運搬に用いる車両の運行）	＜二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）・気象の状況（風向・風速の年間データ）＞ 二酸化窒素（NO ₂ ）及び浮遊粒子状物質（SPM）の濃度の状況（年平均値）及び気象の状況（風向・風速の年間データ）は、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。	二酸化窒素の予測値は0.0032～0.0062ppm、浮遊粒子状物質の予測値は0.01100～0.01201mg/m ³ である。				＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事用車両の分散</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事用車両が通行する道路</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>工事用車両を分散させることにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の最大濃度の低減が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>騒音、振動への影響が緩和される。</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事用車両の分散	位置	工事用車両が通行する道路	環境保全措置の効果		工事用車両を分散させることにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の最大濃度の低減が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		騒音、振動への影響が緩和される。
				実施主体		長野県																			
				実施内容	種類	工事用車両の分散																			
					位置	工事用車両が通行する道路																			
				環境保全措置の効果		工事用車両を分散させることにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の最大濃度の低減が見込まれる。																			
				効果の不確実性		なし																			
				他の環境への影響		騒音、振動への影響が緩和される。																			
				●二酸化窒素の予測結果 [単位：ppm]																					
				予測地点		予測値（年平均値）			寄与率（%）※	日平均値の年間98%値															
						工事用車両寄与濃度	計																		
				村道 12 号線沿道（宮田村 5284-3 地先）		0.00002	0.0062		0	0.017															
				一般県道栗林宮田停車場線沿道（宮田村 5610-1 地先）		0.00001	0.0062		0	0.016															
				村道 16 号線沿道（宮田村 6747-5 地先）		0.00002	0.0050		0	0.016															
				一般県道車屋大久保線沿道（伊那市東春近 4838 地先）		0.00001	0.0051		0	0.014															
				主要地方道伊那生田飯田線沿道（伊那市東春近 8290 地先）		0.00004	0.0032		1	0.013															
				一般県道沢渡高遠線沿道（伊那市東春近 7637-8 地先）		0.00003	0.0032		1	0.013															
				市道ナイスロード沿道（伊那市美簗 10856 地先）		0.00002	0.0034		1	0.013															
				※：寄与率0%は、0.5%未満を示す。 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）地上1.5mにおける値である。 注2：工事用車両寄与濃度は、予測地点に対する既存道路から新たに計画路線より付加される濃度を示す。																					
				●浮遊粒子状物質の予測結果 [単位：mg/m ³]																					
				予測地点		予測値（年平均値）			寄与率（%）※	日平均値の年間2%除外値															
						工事用車両寄与濃度	計																		
				村道 12 号線沿道（宮田村 5284-3 地先）		0.000001	0.01201		0	0.033															
				一般県道栗林宮田停車場線沿道（宮田村 5610-1 地先）		0.000001	0.01201		0	0.031															
				村道 16 号線沿道（宮田村 6747-5 地先）		0.000002	0.01100		0	0.031															
				一般県道車屋大久保線沿道（伊那市東春近 4838 地先）		0.000001	0.01100		0	0.029															
				主要地方道伊那生田飯田線沿道（伊那市東春近 8290 地先）		0.000002	0.01101		0	0.031															
				一般県道沢渡高遠線沿道（伊那市東春近 7637-8 地先）		0.000001	0.01101		0	0.031															
				市道ナイスロード沿道（伊那市美簗 10856 地先）		0.000001	0.01101		0	0.031															
				※：寄与率0%は、0.5%未満を示す。 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）地上1.5mにおける値である。 注2：工事用車両寄与濃度は、予測地点に対する既存道路から新たに計画路線より付加される濃度を示す。																					

＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「工事用車両の分散」を実施することで環境負荷を低減している。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。		
＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、二酸化窒素の工事用車両の運行による寄与濃度及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の工事用車両の運行による寄与濃度及び日平均値の年間2%除外値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。		

表 13-1(7)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																				
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	工事の実施 （資材及び機械の運搬に用いる車両の運行）				●二酸化窒素の評価結果 [単位：ppm] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th>予測値</th><th>評価値</th><th rowspan="2">参考値</th><th rowspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>工事用車両寄与濃度</th><th>日平均値の年間98%値</th></tr><tr><td>村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td>0.00002</td><td>0.017</td><td rowspan="7">0.004 ppm 以下</td><td rowspan="7">1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。</td><td rowspan="7">基準又は目標との整合が図られている。</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td>0.00001</td><td>0.016</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td>0.00002</td><td>0.016</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td>0.00001</td><td>0.014</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td>0.00004</td><td>0.013</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td>0.00003</td><td>0.013</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）</td><td>0.00002</td><td>0.013</td></tr></table> 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）地上1.5mにおける値である。 注2：参考値は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所）による建設機械の稼働に係る二酸化窒素の濃度の参考値である。 注3：環境基準は、「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年7月11日 環境庁告示第38号）による環境基準である。 ●浮遊粒子状物質の評価結果 [単位：mg/m³] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th>予測値</th><th>評価値</th><th rowspan="2">参考値</th><th rowspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>工事用車両寄与濃度</th><th>日平均値の年間2%除外値</th></tr><tr><td>村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td>0.000001</td><td>0.033</td><td rowspan="7">0.009 mg/m³ 以下</td><td rowspan="7">1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。</td><td rowspan="7">基準又は目標との整合が図られている。</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td>0.000001</td><td>0.031</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td>0.000002</td><td>0.031</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td>0.000001</td><td>0.029</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td>0.000002</td><td>0.031</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td>0.000001</td><td>0.031</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）</td><td>0.000001</td><td>0.031</td></tr></table> 注1：工事敷地境界（道路敷地境界）地上1.5mにおける値である。 注2：参考値は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所）による建設機械の稼働に係る浮遊粒子状物質の濃度の参考値である。 注3：環境基準は、「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年5月8日 環境庁告示第25号）による環境基準である。	予測地点	予測値	評価値	参考値	環境基準	評価	工事用車両寄与濃度	日平均値の年間98%値	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.00002	0.017	0.004 ppm 以下	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	基準又は目標との整合が図られている。	一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.00001	0.016	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.00002	0.016	一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.00001	0.014	主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.00004	0.013	一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.00003	0.013	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	0.00002	0.013	予測地点	予測値	評価値	参考値	環境基準	評価	工事用車両寄与濃度	日平均値の年間2%除外値	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.000001	0.033	0.009 mg/m³ 以下	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準又は目標との整合が図られている。	一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.000001	0.031	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.000002	0.031	一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.000001	0.029	主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.000002	0.031	一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.000001	0.031	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	0.000001	0.031
予測地点	予測値	評価値	参考値	環境基準	評価																																																																	
	工事用車両寄与濃度	日平均値の年間98%値																																																																				
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.00002	0.017	0.004 ppm 以下	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	基準又は目標との整合が図られている。																																																																	
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.00001	0.016																																																																				
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.00002	0.016																																																																				
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.00001	0.014																																																																				
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.00004	0.013																																																																				
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.00003	0.013																																																																				
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	0.00002	0.013																																																																				
予測地点	予測値	評価値	参考値	環境基準	評価																																																																	
	工事用車両寄与濃度	日平均値の年間2%除外値																																																																				
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	0.000001	0.033	0.009 mg/m³ 以下	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	基準又は目標との整合が図られている。																																																																	
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	0.000001	0.031																																																																				
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	0.000002	0.031																																																																				
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	0.000001	0.029																																																																				
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	0.000002	0.031																																																																				
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	0.000001	0.031																																																																				
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	0.000001	0.031																																																																				

表 13-1 (8)環境影響評価結果の総合的な評価																																																																																															
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果				環境保全措置及び事後調査		評価結果																																																																																					
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																													
騒音	騒音	存在・供用 (自動車の 走行)	＜騒音の状況＞ 等価騒音レベル(L _{Aeq})は、昼間で44～70dB、 夜間で35～65dBである。現況交通量は1, 198台 /日～15, 223台/日である。 ●等価騒音レベル(L _{Aeq})の調査結果 [単位：dB]		計画路線の予測値は、近接空間の昼間が46～69dB、夜 間が39～62dB、背後地の昼間が52～65dB、夜間が45～ 58dBである。既存道路の影響を考慮した予測値は、近接 空間の昼間が49～70dB、夜間が42～63dB、背後地の昼間 が52～66dB、夜間が46～59dBである。 ●騒音の予測結果（計画路線の予測） [単位：dB]				＜環境保全措置＞ 環境保全措置の実施に当たっては、事業実 施段階において、事業による環境影響を把握 するための調査を行い、当該路線の環境基準 の達成に必要な区間及び設計とする。 ●環境保全措置の検討結果		＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地 をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対 象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図ってい る。また、基準値を超過すると予測される伊那市原新田 においては、環境保全措置として「遮音壁の設置」を行 い、環境負荷を低減する。このことから、環境影響は事 業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減さ れているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、自動車の走行に係る騒音の予測値は、 環境保全措置実施後には全ての予測地点及び時間区分 において基準値以下であり、基準等との整合は図られて いるものと評価する。既存道路の影響を考慮した騒音の 予測値は、伊那市原新田では、基準値以下であり、基準 等との整合は図られているものと評価する。																																																																																				
												<table><tr><td>騒音 種別</td><td>調査地点</td><td colspan="2">調査結果</td></tr><tr><td></td><td></td><td>昼間</td><td>夜間</td></tr><tr><td rowspan="5">一般 環境 騒音</td><td>北の原いきいき交流セ ンター（町四区北の原 集落センター）</td><td>49</td><td>43</td></tr><tr><td>大久保集落センター</td><td>52</td><td>46</td></tr><tr><td>田原公民館</td><td>44</td><td>35</td></tr><tr><td>原新田公民館</td><td>46</td><td>38</td></tr><tr><td>青島交流センター</td><td>51</td><td>44</td></tr></table>	騒音 種別	調査地点	調査結果				昼間	夜間	一般 環境 騒音	北の原いきいき交流セ ンター（町四区北の原 集落センター）	49	43	大久保集落センター	52	46	田原公民館	44	35	原新田公民館	46	38	青島交流センター	51	44	<table><tr><td>騒音 種別</td><td>調査地点</td><td colspan="2">調査結果</td></tr><tr><td></td><td></td><td>昼間</td><td>夜間</td></tr><tr><td rowspan="9">道路 交通 騒音</td><td>村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)</td><td>65</td><td>53</td></tr><tr><td>一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)</td><td>70</td><td>65</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車場 線沿道 (宮田村 5610-1 地先)</td><td>65</td><td>55</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)</td><td>54</td><td>46</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)</td><td>59</td><td>48</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯田 線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)</td><td>62</td><td>54</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿道 (伊那市東春近 7637-8 地先)</td><td>61</td><td>54</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 (伊那市美簗 10856 地先)</td><td>68</td><td>60</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	騒音 種別	調査地点	調査結果				昼間	夜間	道路 交通 騒音	村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)	65	53	一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)	70	65	一般県道栗林宮田停車場 線沿道 (宮田村 5610-1 地先)	65	55	村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)	54	46	一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)	59	48	主要地方道伊那生田飯田 線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)	62	54	一般県道沢渡高遠線沿道 (伊那市東春近 7637-8 地先)	61	54	市道ナイスロード沿道 (伊那市美簗 10856 地先)	68	60					注：時間区分は、昼間（6:00～22:00）、夜間（22:00～6:00） である。 ●現況交通量の調査結果	<table><tr><td>調査地点</td><td>自動車 交通量 (台/日)</td><td>大型車 混入率 (%)</td></tr><tr><td>村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)</td><td>2, 519</td><td>15. 0</td></tr><tr><td>一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)</td><td>15, 223</td><td>9. 5</td></tr><tr><td>一般県道栗林宮田停車場線沿道 (宮田村 5610-1 地先)</td><td>3, 228</td><td>7. 6</td></tr><tr><td>村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)</td><td>1, 198</td><td>2. 9</td></tr><tr><td>一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)</td><td>1, 420</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>主要地方道伊那生田飯田線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)</td><td>4, 027</td><td>5. 3</td></tr><tr><td>一般県道沢渡高遠線沿道 (伊那市東春近 7637-8 地先)</td><td>2, 569</td><td>7. 2</td></tr><tr><td>市道ナイスロード沿道 (伊那市美簗 10856 地先)</td><td>8, 119</td><td>7. 8</td></tr></table>	調査地点	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)	2, 519	15. 0	一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)	15, 223	9. 5	一般県道栗林宮田停車場線沿道 (宮田村 5610-1 地先)	3, 228	7. 6	村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)	1, 198	2. 9	一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)	1, 420	0. 6	主要地方道伊那生田飯田線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)
			騒音 種別	調査地点	調査結果																																																																																										
					昼間	夜間																																																																																									
			一般 環境 騒音	北の原いきいき交流セ ンター（町四区北の原 集落センター）	49	43																																																																																									
				大久保集落センター	52	46																																																																																									
				田原公民館	44	35																																																																																									
				原新田公民館	46	38																																																																																									
				青島交流センター	51	44																																																																																									
			騒音 種別	調査地点	調査結果																																																																																										
		昼間	夜間																																																																																												
道路 交通 騒音	村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)	65	53																																																																																												
	一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)	70	65																																																																																												
	一般県道栗林宮田停車場 線沿道 (宮田村 5610-1 地先)	65	55																																																																																												
	村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)	54	46																																																																																												
	一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)	59	48																																																																																												
	主要地方道伊那生田飯田 線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)	62	54																																																																																												
	一般県道沢渡高遠線沿道 (伊那市東春近 7637-8 地先)	61	54																																																																																												
	市道ナイスロード沿道 (伊那市美簗 10856 地先)	68	60																																																																																												
調査地点	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)																																																																																													
村道 12 号線沿道 (宮田村 5284-3 地先)	2, 519	15. 0																																																																																													
一般国道 153 号沿道 (宮田村 6249-1 地先)	15, 223	9. 5																																																																																													
一般県道栗林宮田停車場線沿道 (宮田村 5610-1 地先)	3, 228	7. 6																																																																																													
村道 16 号線沿道 (宮田村 6747-5 地先)	1, 198	2. 9																																																																																													
一般県道車屋大久保線沿道 (伊那市東春近 4838 地先)	1, 420	0. 6																																																																																													
主要地方道伊那生田飯田線沿道 (伊那市東春近 8290 地先)	4, 027	5. 3																																																																																													
一般県道沢渡高遠線沿道 (伊那市東春近 7637-8 地先)	2, 569	7. 2																																																																																													
市道ナイスロード沿道 (伊那市美簗 10856 地先)	8, 119	7. 8																																																																																													

表 13-1(9)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
騒音	騒音	存在・供用 （自動車の 走行）	＜都市計画対象道路事業により供用される道路の沿道の状況＞ 計画路線沿道の地表面は、芝地・田んぼ・草地（一部、コンクリート・アスファルト、表面の柔らかい畑地・耕田）である。住居等は、概ね2階建てと1階建てが存在しており、道路に面した壁面に窓等が位置し、道路交通騒音の影響を受けやすい面となっている。	●騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） [単位：dB] <table><thead><tr><th colspan="3" rowspan="3">予測地点</th><th rowspan="3">予測 高さ</th><th colspan="6">予測値</th></tr><tr><th colspan="3">昼間</th><th colspan="3">夜間</th></tr><tr><th>計 画 路 線</th><th>既 存 道 路</th><th>合 成 値</th><th>計 画 路 線</th><th>既 存 道 路</th><th>合 成 値</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">駒ヶ根市赤穂 （大田切）</td><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>67</td><td>68</td><td>50</td><td>60</td><td>61</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>60</td><td>67</td><td>68</td><td>53</td><td>60</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>63</td><td>64</td><td>50</td><td>56</td><td>57</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>59</td><td>64</td><td>65</td><td>53</td><td>57</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="12">宮田村大田切</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>46</td><td>45</td><td>49</td><td>39</td><td>39</td><td>42</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>49</td><td>46</td><td>51</td><td>42</td><td>39</td><td>44</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>46</td><td>53</td><td>45</td><td>39</td><td>46</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>55</td><td>47</td><td>55</td><td>48</td><td>40</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>50</td><td>44</td><td>51</td><td>44</td><td>37</td><td>45</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>53</td><td>44</td><td>53</td><td>46</td><td>37</td><td>47</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>53</td><td>44</td><td>54</td><td>47</td><td>37</td><td>47</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>55</td><td>45</td><td>56</td><td>49</td><td>38</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村大久保</td><td rowspan="2">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>32</td><td>57</td><td>51</td><td>29</td><td>51</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>69</td><td>40</td><td>69</td><td>62</td><td>32</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>33</td><td>57</td><td>51</td><td>29</td><td>51</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>62</td><td>36</td><td>62</td><td>55</td><td>30</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村中越</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>－※</td><td>52</td><td>45</td><td>－※</td><td>45</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>55</td><td>－※</td><td>55</td><td>48</td><td>－※</td><td>48</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>－※</td><td>52</td><td>46</td><td>－※</td><td>46</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>56</td><td>－※</td><td>56</td><td>49</td><td>－※</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="8">伊那市下殿島</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>45</td><td>56</td><td>49</td><td>32</td><td>50</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>68</td><td>45</td><td>68</td><td>61</td><td>33</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>46</td><td>57</td><td>50</td><td>34</td><td>50</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>62</td><td>47</td><td>62</td><td>55</td><td>34</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>26</td><td>56</td><td>49</td><td>14</td><td>49</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>63</td><td>36</td><td>63</td><td>56</td><td>23</td><td>56</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>27</td><td>56</td><td>49</td><td>15</td><td>49</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>60</td><td>33</td><td>60</td><td>53</td><td>21</td><td>53</td></tr><tr><td rowspan="10">伊那市原新田</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>64</td><td>55</td><td>65</td><td>57</td><td>45</td><td>58</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>69</td><td>58</td><td>70</td><td>62</td><td>48</td><td>63</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>59</td><td>56</td><td>61</td><td>52</td><td>46</td><td>53</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>64</td><td>58</td><td>65</td><td>57</td><td>48</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="6">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>66</td><td>53</td><td>66</td><td>59</td><td>43</td><td>59</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>69</td><td>56</td><td>69</td><td>62</td><td>46</td><td>63</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>61</td><td>53</td><td>62</td><td>55</td><td>43</td><td>55</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>65</td><td>56</td><td>66</td><td>58</td><td>45</td><td>59</td></tr></tbody></table> ※：宮田村中越は、主要な既存道路が周囲に存在しない。 注1：時間区分は、昼間（6:00～22:00）、夜間（22:00～6:00）である。 注2：着色部分は、環境基準の超過を示す。	予測地点			予測 高さ	予測値						昼間			夜間			計 画 路 線	既 存 道 路	合 成 値	計 画 路 線	既 存 道 路	合 成 値	駒ヶ根市赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1.2m	57	67	68	50	60	61	4.2m	60	67	68	53	60	61	背後 地	1.2m	56	63	64	50	56	57	4.2m	59	64	65	53	57	58	宮田村大田切	西 側	近接 空間	1.2m	46	45	49	39	39	42	4.2m	49	46	51	42	39	44	背後 地	1.2m	52	46	53	45	39	46	4.2m	55	47	55	48	40	49	東 側	近接 空間	1.2m	50	44	51	44	37	45	4.2m	53	44	53	46	37	47	背後 地	1.2m	53	44	54	47	37	47	4.2m	55	45	56	49	38	49	宮田村大久保	西 側	近接 空間	1.2m	57	32	57	51	29	51	4.2m	69	40	69	62	32	62	背後 地	1.2m	57	33	57	51	29	51	4.2m	62	36	62	55	30	55	宮田村中越	西 側	近接 空間	1.2m	52	－※	52	45	－※	45	4.2m	55	－※	55	48	－※	48	背後 地	1.2m	52	－※	52	46	－※	46	4.2m	56	－※	56	49	－※	49	伊那市下殿島	西 側	近接 空間	1.2m	56	45	56	49	32	50	4.2m	68	45	68	61	33	61	背後 地	1.2m	57	46	57	50	34	50	4.2m	62	47	62	55	34	55	東 側	近接 空間	1.2m	56	26	56	49	14	49	4.2m	63	36	63	56	23	56	背後 地	1.2m	56	27	56	49	15	49	4.2m	60	33	60	53	21	53	伊那市原新田	西 側	近接 空間	1.2m	64	55	65	57	45	58	4.2m	69	58	70	62	48	63	背後 地	1.2m	59	56	61	52	46	53	4.2m	64	58	65	57	48	58	東 側	近接 空間	1.2m	66	53	66	59	43	59	4.2m	69	56	69	62	46	63	背後 地	1.2m	61	53	62	55	43	55	4.2m	65	56	66	58	45	59		●騒音の評価結果（計画路線の予測） [単位：dB] <table><thead><tr><th colspan="3" rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">予測 高さ</th><th colspan="2">予測値</th><th colspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評 価</th></tr><tr><th>昼間</th><th>夜間</th><th>昼間</th><th>夜間</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">駒ヶ根市 赤穂 （大田切）</td><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>50</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>60</td><td>53</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>50</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>59</td><td>53</td></tr><tr><td rowspan="6">宮田村 大田切</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>46</td><td>39</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>49</td><td>42</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>45</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>55</td><td>48</td></tr><tr><td rowspan="2">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>50</td><td>44</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>53</td><td>46</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村 大久保</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>51</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>69</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>51</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>62</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村 中越</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>45</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>55</td><td>48</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>52</td><td>46</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>56</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="8">伊那市 下殿島</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>49</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>68</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>57</td><td>50</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>62</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>49</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>63</td><td>56</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>56</td><td>49</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>60</td><td>53</td></tr><tr><td rowspan="8">伊那市 原新田</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>64</td><td>57</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>69</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>59</td><td>52</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>64</td><td>57</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1.2m</td><td>60</td><td>53</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>68</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1.2m</td><td>58</td><td>51</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4.2m</td><td>62</td><td>55</td></tr></tbody></table> 注1：時間区分は、昼間（6:00～22:00）、夜間（22:00～6:00）である。 注2：保全対策を施した地点は、保全措置後の予測結果を示す。 注3：環境基準は、「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月 環境庁告示第64号）による道路に面する地域の基準及び幹線交通を担う道路に近接する空間の基準である。	予測地点			予測 高さ	予測値		環境基準		評 価	昼間	夜間	昼間	夜間	駒ヶ根市 赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1.2m	57	50	70	65	4.2m	60	53	背後 地	1.2m	56	50	65	60	4.2m	59	53	宮田村 大田切	西 側	近接 空間	1.2m	46	39	70	65	4.2m	49	42	背後 地	1.2m	52	45	65	60	4.2m	55	48	東 側	近接 空間	1.2m	50	44	70	65	4.2m	53	46	宮田村 大久保	西 側	近接 空間	1.2m	57	51	70	65	4.2m	69	62	背後 地	1.2m	57	51	65	60	4.2m	62	55	宮田村 中越	西 側	近接 空間	1.2m	52	45	70	65	4.2m	55	48	背後 地	1.2m	52	46	65	60	4.2m	56	49	伊那市 下殿島	西 側	近接 空間	1.2m	56	49	70	65	4.2m	68	61	背後 地	1.2m	57	50	65	60	4.2m	62	55	東 側	近接 空間	1.2m	56	49	70	65	4.2m	63	56	背後 地	1.2m	56	49	65	60	4.2m	60	53	伊那市 原新田	西 側	近接 空間	1.2m	64	57	70	65	4.2m	69	62	背後 地	1.2m	59	52	65	60	4.2m	64	57	東 側	近接 空間	1.2m	60	53	70	65	4.2m	68	61	背後 地	1.2m	58	51	65	60	4.2m	62	55
予測地点			予測 高さ	予測値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				昼間					夜間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				計 画 路 線	既 存 道 路	合 成 値	計 画 路 線	既 存 道 路	合 成 値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
駒ヶ根市赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1.2m	57	67	68	50	60	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	60	67	68	53	60	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	56	63	64	50	56	57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	59	64	65	53	57	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
宮田村大田切	西 側	近接 空間	1.2m	46	45	49	39	39	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	49	46	51	42	39	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	52	46	53	45	39	46																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	55	47	55	48	40	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	東 側	近接 空間	1.2m	50	44	51	44	37	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	53	44	53	46	37	47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	53	44	54	47	37	47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	55	45	56	49	38	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	宮田村大久保	西 側	近接 空間	1.2m	57	32	57	51	29	51																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				4.2m	69	40	69	62	32	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		背後 地	1.2m	57	33	57	51	29	51																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	62	36	62	55	30	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
宮田村中越	西 側	近接 空間	1.2m	52	－※	52	45	－※	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	55	－※	55	48	－※	48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	52	－※	52	46	－※	46																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	56	－※	56	49	－※	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
伊那市下殿島	西 側	近接 空間	1.2m	56	45	56	49	32	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	68	45	68	61	33	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	57	46	57	50	34	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	62	47	62	55	34	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	東 側	近接 空間	1.2m	56	26	56	49	14	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	63	36	63	56	23	56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	56	27	56	49	15	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	60	33	60	53	21	53																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
伊那市原新田	西 側	近接 空間	1.2m	64	55	65	57	45	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	69	58	70	62	48	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	59	56	61	52	46	53																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	64	58	65	57	48	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	東 側	近接 空間	1.2m	66	53	66	59	43	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	69	56	69	62	46	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後 地	1.2m	61	53	62	55	43	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			4.2m	65	56	66	58	45	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		予測地点			予測 高さ	予測値		環境基準		評 価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
						昼間	夜間	昼間	夜間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
駒ヶ根市 赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1.2m	57	50	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	60	53																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	56	50	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	59	53																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
宮田村 大田切	西 側	近接 空間	1.2m	46	39	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	49	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	52	45	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	55	48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	東 側	近接 空間	1.2m	50	44	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	53	46																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
宮田村 大久保	西 側	近接 空間	1.2m	57	51	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	69	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	57	51	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	62	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
宮田村 中越	西 側	近接 空間	1.2m	52	45	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	55	48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	52	46	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	56	49																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
伊那市 下殿島	西 側	近接 空間	1.2m	56	49	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	68	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	57	50	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	62	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	東 側	近接 空間	1.2m	56	49	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	63	56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	56	49	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	60	53																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
伊那市 原新田	西 側	近接 空間	1.2m	64	57	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	69	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	59	52	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	64	57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	東 側	近接 空間	1.2m	60	53	70	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	68	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		背後 地	1.2m	58	51	65	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4.2m	62	55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

表 13-1 (10)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																																																																															
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																																																																			
騒音	騒音	存在・供用 （自動車の 走行）				●騒音の評価結果（既存道路の影響を考慮した予測） [単位：dB] <table><thead><tr><th colspan="3" rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">予測 高さ</th><th colspan="2">予測値</th><th colspan="2">環境基準</th><th rowspan="2">評 価</th></tr><tr><th>昼間</th><th>夜間</th><th>昼間</th><th>夜間</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">駒ヶ根市 赤穂 （大田切）</td><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>68</td><td>61</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="36">基準との整合が図られている。</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>68</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>64</td><td>57</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>65</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="8">宮田村 大田切</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>49</td><td>42</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>51</td><td>44</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>53</td><td>46</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>55</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>51</td><td>45</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>53</td><td>47</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>54</td><td>47</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>56</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村 大久保</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>57</td><td>51</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>69</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>57</td><td>51</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>62</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">宮田村 中越</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>52</td><td>45</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>55</td><td>48</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>52</td><td>46</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>56</td><td>49</td></tr><tr><td rowspan="8">伊那市 下殿島</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>56</td><td>50</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>68</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>57</td><td>50</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>62</td><td>55</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>56</td><td>49</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>63</td><td>56</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>56</td><td>49</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>60</td><td>53</td></tr><tr><td rowspan="8">伊那市 原新田</td><td rowspan="4">西 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>65</td><td>58</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>70</td><td>63</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>61</td><td>53</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>65</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="4">東 側</td><td rowspan="2">近接 空間</td><td>1. 2m</td><td>61</td><td>54</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2">65</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>68</td><td>61</td></tr><tr><td rowspan="2">背後 地</td><td>1. 2m</td><td>59</td><td>52</td><td rowspan="2">65</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>63</td><td>56</td></tr></tbody></table> 注1：時間区分は、昼間（6:00～22:00）、夜間（22:00～6:00）である。 注2：保全対策を施した地点は、保全措置後の予測結果を示す。 注3：環境基準は、「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月 環境庁告示第64号）による道路に面する地域の基準及び幹線交通を担う道路に近接する空間の基準である。	予測地点			予測 高さ	予測値		環境基準		評 価	昼間	夜間	昼間	夜間	駒ヶ根市 赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1. 2m	68	61	70	65	基準との整合が図られている。	4. 2m	68	61	背後 地	1. 2m	64	57	65	60	4. 2m	65	58	宮田村 大田切	西 側	近接 空間	1. 2m	49	42	70	65	4. 2m	51	44	背後 地	1. 2m	53	46	65	60	4. 2m	55	49	東 側	近接 空間	1. 2m	51	45	70	65	4. 2m	53	47	背後 地	1. 2m	54	47	65	60	4. 2m	56	49	宮田村 大久保	西 側	近接 空間	1. 2m	57	51	70	65	4. 2m	69	62	背後 地	1. 2m	57	51	65	60	4. 2m	62	55	宮田村 中越	西 側	近接 空間	1. 2m	52	45	70	65	4. 2m	55	48	背後 地	1. 2m	52	46	65	60	4. 2m	56	49	伊那市 下殿島	西 側	近接 空間	1. 2m	56	50	70	65	4. 2m	68	61	背後 地	1. 2m	57	50	65	60	4. 2m	62	55	東 側	近接 空間	1. 2m	56	49	70	65	4. 2m	63	56	背後 地	1. 2m	56	49	65	60	4. 2m	60	53	伊那市 原新田	西 側	近接 空間	1. 2m	65	58	70	65	4. 2m	70	63	背後 地	1. 2m	61	53	65	60	4. 2m	65	58	東 側	近接 空間	1. 2m	61	54	70	65	4. 2m	68	61	背後 地	1. 2m	59	52	65	60	4. 2m	63	56
予測地点			予測 高さ	予測値		環境基準					評 価																																																																																																																																																																																										
				昼間	夜間	昼間	夜間																																																																																																																																																																																														
駒ヶ根市 赤穂 （大田切）	東 側	近接 空間	1. 2m	68	61	70	65	基準との整合が図られている。																																																																																																																																																																																													
			4. 2m	68	61																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	64	57	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	65	58																																																																																																																																																																																																
宮田村 大田切	西 側	近接 空間	1. 2m	49	42	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	51	44																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	53	46	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	55	49																																																																																																																																																																																																
	東 側	近接 空間	1. 2m	51	45	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	53	47																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	54	47	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	56	49																																																																																																																																																																																																
宮田村 大久保	西 側	近接 空間	1. 2m	57	51	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	69	62																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	57	51	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	62	55																																																																																																																																																																																																
宮田村 中越	西 側	近接 空間	1. 2m	52	45	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	55	48																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	52	46	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	56	49																																																																																																																																																																																																
伊那市 下殿島	西 側	近接 空間	1. 2m	56	50	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	68	61																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	57	50	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	62	55																																																																																																																																																																																																
	東 側	近接 空間	1. 2m	56	49	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	63	56																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	56	49	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	60	53																																																																																																																																																																																																
伊那市 原新田	西 側	近接 空間	1. 2m	65	58	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	70	63																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	61	53	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	65	58																																																																																																																																																																																																
	東 側	近接 空間	1. 2m	61	54	70	65																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	68	61																																																																																																																																																																																																
		背後 地	1. 2m	59	52	65	60																																																																																																																																																																																														
			4. 2m	63	56																																																																																																																																																																																																

表 13-1(11)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																																									
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																													
騒音	騒音	工事の実施 （建設機械 の稼働）	<騒音の状況> 騒音レベルの90%レンジの上端値L_{A5}は、49～57dB（一般環境昼間値）である。 ●騒音レベルの調査結果 （騒音レベルの90%レンジの上端値(L_{A5}）） [単位：dB] <table><tr><th>騒音 種別</th><th>調査地点</th><th>調査結果</th></tr><tr><td rowspan="5">一般 環境 騒音</td><td>北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）</td><td>51</td></tr><tr><td>大久保集落センター</td><td>57</td></tr><tr><td>田原公民館</td><td>49</td></tr><tr><td>原新田公民館</td><td>50</td></tr><tr><td>青島交流センター</td><td>55</td></tr></table> <地表面の状況> 地表面の状況は、「自動車の走行に係る騒音」に示すとおりである。	騒音 種別	調査地点	調査結果	一般 環境 騒音	北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）	51	大久保集落センター	57	田原公民館	49	原新田公民館	50	青島交流センター	55	予測値は、75～81dBである。 ●騒音の予測結果 （騒音レベルの90%レンジの上端値（L_{A5}）） [単位：dB] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">種別</th><th colspan="2">予測値</th></tr><tr><th colspan="2">騒音レベルの90%レンジの上端値</th></tr><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大久保</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>80</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村中越</td><td rowspan="2">掘削工</td><td>1. 2m</td><td>76</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>75</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>80</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>79</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>80</td></tr></table> 注：地上高さ1. 2mは1階、4. 2mは2階のおよその高さを表す。	予測地点	種別	予測値		騒音レベルの90%レンジの上端値		駒ヶ根市赤穂（大田切）	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	81	宮田村大田切	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	81	宮田村大久保	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	80	宮田村中越	掘削工	1. 2m	76	4. 2m	75	伊那市下殿島	盛土工	1. 2m	80	4. 2m	79	伊那市原新田	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	80	<環境保全措置> ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><th colspan="2">実施主体</th><th>長野県</th></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>作業方法の改善</td></tr><tr><td>位置</td><td>建設機械が稼働する場所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>作業者に対する資材の取扱いの指導、停車中の車両等のアイドリングを止める、建設機械の複合同時稼働・高負荷運転を極力避ける、不必要な音の発生を防ぐ等により、騒音の発生の低減が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>大気質・振動への影響が緩和される。</td></tr></table> 実施主体 <table><tr><th colspan="2">実施主体</th><th>長野県</th></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>低騒音型建設機械の採用</td></tr><tr><td>位置</td><td>建設機械が稼働する場所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>低騒音型建設機械の採用により、騒音の発生の低減が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> 実施主体 <table><tr><th colspan="2">実施主体</th><th>長野県</th></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>遮音壁などの遮音対策</td></tr><tr><td>位置</td><td>規制基準を超過する地点での工事敷地境界</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>遮音壁等により、遮音による低減効果が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>大気質への影響が緩和される。</td></tr></table> <事後調査> 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	作業方法の改善	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果		作業者に対する資材の取扱いの指導、停車中の車両等のアイドリングを止める、建設機械の複合同時稼働・高負荷運転を極力避ける、不必要な音の発生を防ぐ等により、騒音の発生の低減が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		大気質・振動への影響が緩和される。	実施主体		長野県	実施内容	種類	低騒音型建設機械の採用	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果		低騒音型建設機械の採用により、騒音の発生の低減が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	遮音壁などの遮音対策	位置	規制基準を超過する地点での工事敷地境界	環境保全措置の効果		遮音壁等により、遮音による低減効果が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		大気質への影響が緩和される。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、工事施工ヤードは計画路線の区域内を極力利用する計画としており、環境保全措置として「作業方法の改善」、「低騒音型建設機械の採用」及び「遮音壁などの遮音対策」を実施し、環境負荷を低減する。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。なお、工事実施に当たっては、地元への工事の説明を十分に行い、建設機械稼働時間等に関する要求があった場合は、可能な限り応じて周辺住民の負担にならないように努力する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、建設機械の稼働に係る騒音の予測値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。 ●騒音の評価結果 （騒音レベルの90%レンジの上端値（L_{A5}）） [単位：dB] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th rowspan="2">種別</th><th colspan="2">予測値</th><th rowspan="2">規制基準 (L_{A5})</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>騒音レベルの90%レンジの上端値</th><th></th></tr><tr><td rowspan="2">駒ヶ根市赤穂（大田切）</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td><td rowspan="12">85</td><td rowspan="12">基準との整合が図られている。</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大田切</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村大久保</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>80</td></tr><tr><td rowspan="2">宮田村中越</td><td rowspan="2">掘削工</td><td>1. 2m</td><td>76</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>75</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市下殿島</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>80</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>79</td></tr><tr><td rowspan="2">伊那市原新田</td><td rowspan="2">盛土工</td><td>1. 2m</td><td>81</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>80</td></tr></table> 注1：地上高さ1. 2mは1階、4. 2mは2階のおよその高さを表す。 注2：規制基準は、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」（昭和43年11月27日 厚生省、建設省告示第1号）による基準である。	予測地点	種別	予測値		規制基準 (L_{A5})	評価	騒音レベルの90%レンジの上端値		駒ヶ根市赤穂（大田切）	盛土工	1. 2m	81	85	基準との整合が図られている。	4. 2m	81	宮田村大田切	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	81	宮田村大久保	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	80	宮田村中越	掘削工	1. 2m	76	4. 2m	75	伊那市下殿島	盛土工	1. 2m	80	4. 2m	79	伊那市原新田	盛土工	1. 2m	81	4. 2m	80
騒音 種別	調査地点	調査結果																																																																																																																																																													
一般 環境 騒音	北の原いきいき交流センター（町四区北の原集落センター）	51																																																																																																																																																													
	大久保集落センター	57																																																																																																																																																													
	田原公民館	49																																																																																																																																																													
	原新田公民館	50																																																																																																																																																													
	青島交流センター	55																																																																																																																																																													
予測地点	種別	予測値																																																																																																																																																													
		騒音レベルの90%レンジの上端値																																																																																																																																																													
駒ヶ根市赤穂（大田切）	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	81																																																																																																																																																												
宮田村大田切	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	81																																																																																																																																																												
宮田村大久保	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	80																																																																																																																																																												
宮田村中越	掘削工	1. 2m	76																																																																																																																																																												
		4. 2m	75																																																																																																																																																												
伊那市下殿島	盛土工	1. 2m	80																																																																																																																																																												
		4. 2m	79																																																																																																																																																												
伊那市原新田	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	80																																																																																																																																																												
実施主体		長野県																																																																																																																																																													
実施内容	種類	作業方法の改善																																																																																																																																																													
	位置	建設機械が稼働する場所																																																																																																																																																													
環境保全措置の効果		作業者に対する資材の取扱いの指導、停車中の車両等のアイドリングを止める、建設機械の複合同時稼働・高負荷運転を極力避ける、不必要な音の発生を防ぐ等により、騒音の発生の低減が見込まれる。																																																																																																																																																													
効果の不確実性		なし																																																																																																																																																													
他の環境への影響		大気質・振動への影響が緩和される。																																																																																																																																																													
実施主体		長野県																																																																																																																																																													
実施内容	種類	低騒音型建設機械の採用																																																																																																																																																													
	位置	建設機械が稼働する場所																																																																																																																																																													
環境保全措置の効果		低騒音型建設機械の採用により、騒音の発生の低減が見込まれる。																																																																																																																																																													
効果の不確実性		なし																																																																																																																																																													
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																																													
実施主体		長野県																																																																																																																																																													
実施内容	種類	遮音壁などの遮音対策																																																																																																																																																													
	位置	規制基準を超過する地点での工事敷地境界																																																																																																																																																													
環境保全措置の効果		遮音壁等により、遮音による低減効果が見込まれる。																																																																																																																																																													
効果の不確実性		なし																																																																																																																																																													
他の環境への影響		大気質への影響が緩和される。																																																																																																																																																													
予測地点	種別	予測値		規制基準 (L_{A5})	評価																																																																																																																																																										
		騒音レベルの90%レンジの上端値																																																																																																																																																													
駒ヶ根市赤穂（大田切）	盛土工	1. 2m	81	85	基準との整合が図られている。																																																																																																																																																										
		4. 2m	81																																																																																																																																																												
宮田村大田切	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	81																																																																																																																																																												
宮田村大久保	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	80																																																																																																																																																												
宮田村中越	掘削工	1. 2m	76																																																																																																																																																												
		4. 2m	75																																																																																																																																																												
伊那市下殿島	盛土工	1. 2m	80																																																																																																																																																												
		4. 2m	79																																																																																																																																																												
伊那市原新田	盛土工	1. 2m	81																																																																																																																																																												
		4. 2m	80																																																																																																																																																												

表 13-1(12)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																					
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																									
騒音	騒音	工事の実施 （資材及び 機械の運搬 に用いる車 両の運行）	＜騒音の状況＞ 騒音の状況は、「自動車の走行に係る騒音」に示すとおりである。 ＜資材及び機械の運搬に用いる車輛の運行が予想される道路の沿道の状況＞ 交通量の状況は、「自動車の走行に係る騒音」に示すとおりである。 地表面の状況は、「自動車の走行に係る騒音」に示すとおりである。	予測値は、57～70dBである。 ●騒音の予測結果（等価騒音レベル（L_{Aeq}）） [単位：dB] <table><tr><th>予測地点</th><th>現況 値</th><th>地上 高さ</th><th>ΔL※</th><th>予測 値</th></tr><tr><td rowspan="2">村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td rowspan="2">65</td><td>1. 2m</td><td>1</td><td>66</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>1</td><td>66</td></tr><tr><td rowspan="2">一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）</td><td rowspan="2">70</td><td>1. 2m</td><td>0</td><td>70</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>0</td><td>70</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td rowspan="2">65</td><td>1. 2m</td><td>1</td><td>66</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>1</td><td>66</td></tr><tr><td rowspan="2">村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td rowspan="2">54</td><td>1. 2m</td><td>3</td><td>57</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>4</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td rowspan="2">59</td><td>1. 2m</td><td>0</td><td>59</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>0</td><td>59</td></tr><tr><td rowspan="2">主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td rowspan="2">62</td><td>1. 2m</td><td>1</td><td>63</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>1</td><td>63</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td rowspan="2">61</td><td>1. 2m</td><td>1</td><td>62</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>1</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）</td><td rowspan="2">68</td><td>1. 2m</td><td>0</td><td>68</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>0</td><td>68</td></tr></table> ※：ΔLは工事用車両による騒音レベルの増分を示す。 注：予測値は、道路敷地境界の地上高さ1. 2m及び4. 2mの値を示している。地上高さ1. 2mは1階、4. 2mは2階のおよその高さを示す。	予測地点	現況 値	地上 高さ	ΔL※	予測 値	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	65	1. 2m	1	66	4. 2m	1	66	一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）	70	1. 2m	0	70	4. 2m	0	70	一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	65	1. 2m	1	66	4. 2m	1	66	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	54	1. 2m	3	57	4. 2m	4	58	一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	59	1. 2m	0	59	4. 2m	0	59	主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	62	1. 2m	1	63	4. 2m	1	63	一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	61	1. 2m	1	62	4. 2m	1	62	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	68	1. 2m	0	68	4. 2m	0	68	＜環境保全措置＞ 事業実施段階において、現地条件等を勘案して既存道路の交通量等を考慮した運行ルートを選定する等、具体的な対応を検討する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事の分散</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事用車両が通行する道路</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>工事用車両の分散運行等により、騒音の発生の低減が見込まれる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>大気質・振動への影響が緩和される。</td></tr></table> ＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事の分散	位置	工事用車両が通行する道路	環境保全措置の効果		工事用車両の分散運行等により、騒音の発生の低減が見込まれる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		大気質・振動への影響が緩和される。	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「工事の分散」を実施し、環境負荷を低減する。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の予測値は、全ての予測地点で基準値以下であり、基準等との整合は図られているものと評価する。 ●騒音の評価結果（等価騒音レベル（L_{Aeq}）） [単位：dB] <table><tr><th>予測地点</th><th>地上 高さ</th><th>予測 値</th><th>環境 基準 （要請 限度）</th><th>評 価</th></tr><tr><td rowspan="2">村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）</td><td>1. 2m</td><td>66</td><td rowspan="16">70 （75）</td><td rowspan="16">基準 又は 目標 との 整合 が図 られて いる。</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>66</td></tr><tr><td rowspan="2">一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）</td><td>1. 2m</td><td>70</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>70</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）</td><td>1. 2m</td><td>66</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>66</td></tr><tr><td rowspan="2">村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）</td><td>1. 2m</td><td>57</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>58</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）</td><td>1. 2m</td><td>59</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>59</td></tr><tr><td rowspan="2">主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）</td><td>1. 2m</td><td>63</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>63</td></tr><tr><td rowspan="2">一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）</td><td>1. 2m</td><td>62</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>62</td></tr><tr><td rowspan="2">市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）</td><td>1. 2m</td><td>68</td></tr><tr><td>4. 2m</td><td>68</td></tr></table> 注1：予測値は、道路敷地境界の地上高さ1. 2m及び4. 2mの値を示している。地上高さ1. 2mは1階、4. 2mは2階のおよその高さを示す。 注2：環境基準は、「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月30日 環境庁告示第64号）による道路に面する地域の基準である。 注3：要請限度は、「騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」（最終改正平成12年3月2日 総理府令第15号）による自動車騒音の限度である。	予測地点	地上 高さ	予測 値	環境 基準 （要請 限度）	評 価	村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	1. 2m	66	70 （75）	基準 又は 目標 との 整合 が図 られて いる。	4. 2m	66	一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）	1. 2m	70	4. 2m	70	一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	1. 2m	66	4. 2m	66	村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	1. 2m	57	4. 2m	58	一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	1. 2m	59	4. 2m	59	主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	1. 2m	63	4. 2m	63	一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	1. 2m	62	4. 2m	62	市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	1. 2m	68	4. 2m	68
予測地点	現況 値	地上 高さ	ΔL※	予測 値																																																																																																																																							
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	65	1. 2m	1	66																																																																																																																																							
		4. 2m	1	66																																																																																																																																							
一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）	70	1. 2m	0	70																																																																																																																																							
		4. 2m	0	70																																																																																																																																							
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	65	1. 2m	1	66																																																																																																																																							
		4. 2m	1	66																																																																																																																																							
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	54	1. 2m	3	57																																																																																																																																							
		4. 2m	4	58																																																																																																																																							
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	59	1. 2m	0	59																																																																																																																																							
		4. 2m	0	59																																																																																																																																							
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	62	1. 2m	1	63																																																																																																																																							
		4. 2m	1	63																																																																																																																																							
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	61	1. 2m	1	62																																																																																																																																							
		4. 2m	1	62																																																																																																																																							
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	68	1. 2m	0	68																																																																																																																																							
		4. 2m	0	68																																																																																																																																							
実施主体		長野県																																																																																																																																									
実施内容	種類	工事の分散																																																																																																																																									
	位置	工事用車両が通行する道路																																																																																																																																									
環境保全措置の効果		工事用車両の分散運行等により、騒音の発生の低減が見込まれる。																																																																																																																																									
効果の不確実性		なし																																																																																																																																									
他の環境への影響		大気質・振動への影響が緩和される。																																																																																																																																									
予測地点	地上 高さ	予測 値	環境 基準 （要請 限度）	評 価																																																																																																																																							
村道 12 号線沿道 （宮田村 5284-3 地先）	1. 2m	66	70 （75）	基準 又は 目標 との 整合 が図 られて いる。																																																																																																																																							
	4. 2m	66																																																																																																																																									
一般国道 153 号沿道 （宮田村 6249-1 地先）	1. 2m	70																																																																																																																																									
	4. 2m	70																																																																																																																																									
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村 5610-1 地先）	1. 2m	66																																																																																																																																									
	4. 2m	66																																																																																																																																									
村道 16 号線沿道 （宮田村 6747-5 地先）	1. 2m	57																																																																																																																																									
	4. 2m	58																																																																																																																																									
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近 4838 地先）	1. 2m	59																																																																																																																																									
	4. 2m	59																																																																																																																																									
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近 8290 地先）	1. 2m	63																																																																																																																																									
	4. 2m	63																																																																																																																																									
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近 7637-8 地先）	1. 2m	62																																																																																																																																									
	4. 2m	62																																																																																																																																									
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗 10856 地先）	1. 2m	68																																																																																																																																									
	4. 2m	68																																																																																																																																									

表 13-1 (15)環境影響評価結果の総合的な評価									
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果			
	環境要素 の区分	影響要因 の区分							
振動	振動	工事の実施 （資材及び 機械の運搬 に用いる車 両の運行）	＜振動の状況＞ 振動の状況は、「自動車の走行に係る振動」 に示すとおりである。 ＜地盤の状況＞ 地盤の状況は、「自動車の走行に係る振動」 に示すとおりである。	予測値は、22～46dBである。 ●振動の予測結果 （振動レベルの80%レンジの上端値（L ₁₀ ）） [単位：dB]	＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地 をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対 象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図ってい る。また、環境保全措置として「工事用車両の分散」を 実施し、環境負荷を低減する。このことから、環境影響 は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低 減されているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、資材及び機械の運搬に用いる車両の運 行に係る振動の予測値は、全ての予測地点で基準値を下 回っており、基準等との整合は図られているものと評価 する。 ●振動の評価結果 （振動レベルの80%レンジの上端値（L ₁₀ ）） [単位：dB]			
				実施主体	長野県				
				実施内容	種類		工事用車両の分散		
					位置		工事用車両が通行する道 路		
				環境保全措置の効果			工事用車両の分散運行等 により、振動の発生の低 減が見込まれる。		
				効果の不確実性			なし		
				他の環境への影響			大気質、騒音への影響が 緩和される。		
				＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであ り、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果 に係る知見が十分に把握されていると判断で き、効果の不確実性は小さいと考えられるこ とから、事後調査は実施しないものとする。					
				予測地点			現況値	ΔL※	予測値
				村道12号線沿道 （宮田村5284-3地先）			30	1	31
一般国道153号沿道 （宮田村6249-1地先）		44	2	46					
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村5610-1地先）		24	1	25					
村道16号線沿道 （宮田村6747-5地先）		18	6	24					
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近4838地先）		20	2	22					
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近8290地先）		35	3	38					
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近7637-8地先）		42	3	45					
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗10856地先）		33	1	34					
※：ΔLは工事用車両による振動レベルの増分を示す。									
予測地点		予測値	規制 基準	評価					
村道12号線沿道 （宮田村5284-3地先）		31	65	基準と の整合 が図ら れてい る。					
一般国道153号沿道 （宮田村6249-1地先）		46							
一般県道栗林宮田停車場線沿道 （宮田村5610-1地先）		25							
村道16号線沿道 （宮田村6747-5地先）		24							
一般県道車屋大久保線沿道 （伊那市東春近4838地先）		22							
主要地方道伊那生田飯田線沿道 （伊那市東春近8290地先）		38							
一般県道沢渡高遠線沿道 （伊那市東春近7637-8地先）		45							
市道ナイスロード沿道 （伊那市美簗10856地先）		34							
注：規制基準は、「振動規制法施行規則」（昭和51年11月10日 総理 府令第58号）による道路交通振動の限度である。									

表 13-1 (16)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																												
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																
低周波音	低周波音	存在・供用 （自動車の 走行）	<住居等の配置の状況> 住居等の位置は、概ね調査範囲全体に立地している。1階建てと2階建てが占めているが、一部3階建てが存在する。高架構造物からの距離は、最も近い住宅で10m以内に位置している。 ●住居等の配置の状況の調査結果 <table><tr><th>調査地域</th><th>住居等の状況</th></tr><tr><td>駒ヶ根市赤穂 （大田切）</td><td>調査範囲全体は40数軒の1～3階建ての住居等が立地 道路敷地境界は数軒の1～3階建ての住居等が立地</td></tr></table>	調査地域	住居等の状況	駒ヶ根市赤穂 （大田切）	調査範囲全体は40数軒の1～3階建ての住居等が立地 道路敷地境界は数軒の1～3階建ての住居等が立地	予測値は、L₅₀が61dB、L_{G5}が71dBである。 ●低周波音の予測結果 [単位：dB] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値</th></tr><tr><th>50%時間率音圧 レベル (L₅₀)</th><th>G特性5%時間率 音圧レベル (L_{G5})</th></tr><tr><td>駒ヶ根市赤穂 （大田切）</td><td>61</td><td>71</td></tr></table> 注：予測値は、予測地点の地上1.2mにおける値を示す。	予測地点	予測値		50%時間率音圧 レベル (L ₅₀)	G特性5%時間率 音圧レベル (L _{G5})	駒ヶ根市赤穂 （大田切）	61	71	<環境保全措置> 予測結果より、自動車の走行に係る低周波音に関しては「低周波音の参考となる指標」を下回ると考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 <事後調査> 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、予測結果から自動車の走行に係る低周波音に関しては参考となる指標を下回ると考えられるため、事業の実施に伴う著しい環境影響を及ぼすことはないと考えられる。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、自動車の走行に係る低周波音の予測値は、全ての予測地点で参考となる指標を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。 ●低周波音の評価結果 [単位：dB] <table><tr><th rowspan="2">予測地点</th><th colspan="2">予測値</th><th colspan="2">参考となる 指標</th><th rowspan="2">評価</th></tr><tr><th>50%時間 率音圧 レベル (L₅₀)</th><th>G特性5% 時間率 音圧レ ベル (L_{G5})</th><th>L₅₀</th><th>L_{G5}</th></tr><tr><td>駒ヶ根市赤穂 （大田切）</td><td>61</td><td>71</td><td>90dB 以下</td><td>100dB 以下</td><td>目標と の整合 が図ら れている。</td></tr></table> 注1：予測値は、予測地点の地上1.2mにおける値を示す。 注2：参考となる指標は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所）による低周波音の参考となる指標である。	予測地点	予測値		参考となる 指標		評価	50%時間 率音圧 レベル (L ₅₀)	G特性5% 時間率 音圧レ ベル (L _{G5})	L ₅₀	L _{G5}	駒ヶ根市赤穂 （大田切）	61	71	90dB 以下	100dB 以下	目標と の整合 が図ら れている。
調査地域	住居等の状況																																	
駒ヶ根市赤穂 （大田切）	調査範囲全体は40数軒の1～3階建ての住居等が立地 道路敷地境界は数軒の1～3階建ての住居等が立地																																	
予測地点	予測値																																	
	50%時間率音圧 レベル (L ₅₀)	G特性5%時間率 音圧レベル (L _{G5})																																
駒ヶ根市赤穂 （大田切）	61	71																																
予測地点	予測値		参考となる 指標		評価																													
	50%時間 率音圧 レベル (L ₅₀)	G特性5% 時間率 音圧レ ベル (L _{G5})	L ₅₀	L _{G5}																														
駒ヶ根市赤穂 （大田切）	61	71	90dB 以下	100dB 以下	目標と の整合 が図ら れている。																													

表 13-1 (17)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																				
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																								
水質	水の濁り	工事の実施 （切土工等 又は既存の 工作物の除 去、工事施 工ヤードの 設置及び工 事用道路等 の設置）	<水質の状況> 浮遊物質 量（SS）の調査結果は、太田切川、天竜川及び大沢川（伊那市）において、環境基準値の25mg/1を超過した。水素イオン濃度（pH）の調査結果は、大沢川（宮田村）、堂沢川及び三峰川において、環境基準値の8.5を超過した。 ●水質の状況の調査結果（浮遊物質 量（SS）） [単位：mg/1] <table><tr><th rowspan="2">調査地点</th><th colspan="3">全期間</th></tr><tr><th>最小</th><th>最大</th><th>平均</th></tr><tr><td>太田切川</td><td><1</td><td><u>26</u></td><td>3</td></tr><tr><td>小田切川</td><td><1</td><td>13</td><td>4</td></tr><tr><td>大沢川（宮田村）</td><td><1</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>堂沢川</td><td><1</td><td>11</td><td>5</td></tr><tr><td>天竜川</td><td><1</td><td><u>100</u></td><td>16</td></tr><tr><td>大沢川（伊那市）</td><td>1</td><td><u>39</u></td><td>11</td></tr><tr><td>三峰川</td><td><1</td><td>22</td><td>5</td></tr></table> 注1：“<”は数値未満であったことを示す。 注2：下線は環境基準値の超過値を意味する。	調査地点	全期間			最小	最大	平均	太田切川	<1	<u>26</u>	3	小田切川	<1	13	4	大沢川（宮田村）	<1	25	5	堂沢川	<1	11	5	天竜川	<1	<u>100</u>	16	大沢川（伊那市）	1	<u>39</u>	11	三峰川	<1	22	5	計画路線は、太田切川、小田切川、大沢川（宮田村）、堂沢川、天竜川、大沢川（伊那市）及び三峰川の7河川を渡河する。渡河する河川における浮遊物質 量（SS）は<1～100mg/1、水素イオン濃度（pH）は7.5～9.1、流量は0.11～28.36m³/s、流速は0.16～1.92m/sであり、巨礫、玉石、砂利、砂の土質状況がみられる。また、水底の土砂はコブル75mm以上、粗礫分19mm以上、中礫分4.75mm以上の粒径組成比率が大きい傾向がみられる。一部の河川では、橋脚等の設置による河川内の工事が予定されており、濁水及びアルカリ排水による水の汚れが発生すると予測される。なお、本事業では主に渡河部における橋台設置に伴う切土及び橋脚設置に伴う工事の影響により濁水が発生し、橋脚設置に伴うコンクリート工事の影響により水の汚れが発生すると予測される。	<環境保全措置> 仮締切工及び水路等の切り回しに当たって、濁水の発生に留意した工法及び濁水を河川等に流さない方法を検討する。なお、濁水、アルカリ排水が発生する場合、濁水処理、中和処理など、事業実施段階において、関係機関と協議して適切な排水水質の目標値を設定の上、適切に処理する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>仮締切工の実施</td></tr><tr><td>位置</td><td>河川の改変及び水底の掘削を行う箇所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>河川内の工事に際し止水性の高い仮締切工を行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁り及び水の汚れに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	仮締切工の実施	位置	河川の改変及び水底の掘削を行う箇所	環境保全措置の効果		河川内の工事に際し止水性の高い仮締切工を行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁り及び水の汚れに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、改変量を極力抑えた計画としており、水質への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「仮締切工の実施」、「水路等の切回しの実施」、「速やかな転圧及び法面整形」及び「シートによる被覆等の実施」を実施し、環境負荷を低減する。なお、環境保全措置の効果の内容をより詳細にするため、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は、別途対策を講ずるものとする。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲でできる限り回避又は低減されているものと評価する。
		調査地点			全期間																																																					
最小	最大		平均																																																							
太田切川	<1	<u>26</u>	3																																																							
小田切川	<1	13	4																																																							
大沢川（宮田村）	<1	25	5																																																							
堂沢川	<1	11	5																																																							
天竜川	<1	<u>100</u>	16																																																							
大沢川（伊那市）	1	<u>39</u>	11																																																							
三峰川	<1	22	5																																																							
実施主体		長野県																																																								
実施内容	種類	仮締切工の実施																																																								
	位置	河川の改変及び水底の掘削を行う箇所																																																								
環境保全措置の効果		河川内の工事に際し止水性の高い仮締切工を行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁り及び水の汚れに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。																																																								
効果の不確実性		なし																																																								
他の環境への影響		特になし																																																								
	水の汚れ	工事の実施 （水底の掘削）	●水質の状況の調査結果(水素イオン濃度(pH)) <table><tr><th rowspan="2">調査地点</th><th colspan="3">全期間</th></tr><tr><th>最小</th><th>最大</th><th>平均</th></tr><tr><td>太田切川</td><td>7.5</td><td>8.3</td><td>7.8</td></tr><tr><td>小田切川</td><td>7.5</td><td>7.9</td><td>7.7</td></tr><tr><td>大沢川（宮田村）</td><td>7.7</td><td><u>8.6</u></td><td>8.0</td></tr><tr><td>堂沢川</td><td>7.0</td><td><u>8.6</u></td><td>7.5</td></tr><tr><td>天竜川</td><td>7.8</td><td>8.4</td><td>8.1</td></tr><tr><td>大沢川（伊那市）</td><td>7.9</td><td>8.5</td><td>8.3</td></tr><tr><td>三峰川</td><td>8.0</td><td><u>9.1</u></td><td>8.5</td></tr></table> 注：下線は環境基準値の超過値を意味する。 <水象の状況> 流量の調査結果は、太田切川では、平成29年4月（8.71m³/s）及び5月（6.05m³/s）において高い値を示した。小田切川（0.11～0.90m³/s）、大沢川（宮田村）（0.12～1.32m³/s）、堂沢川（0.62～1.36m³/s）、大沢川（伊那市）（0.67～2.57m³/s）及び三峰川（2.14～3.30m³/s）では、各月の増減は見られるものの、1年間を通してほぼ横ばい傾向であった。天竜川では、28.36m³/sであり、全地点の中で最も高い値を示した。	調査地点	全期間			最小	最大	平均	太田切川	7.5	8.3	7.8	小田切川	7.5	7.9	7.7	大沢川（宮田村）	7.7	<u>8.6</u>	8.0	堂沢川	7.0	<u>8.6</u>	7.5	天竜川	7.8	8.4	8.1	大沢川（伊那市）	7.9	8.5	8.3	三峰川	8.0	<u>9.1</u>	8.5	<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>水路等の切回しの実施</td></tr><tr><td>位置</td><td>河川の改変及び水底の掘削を行う箇所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>河川内の工事に際し水路等の切回しを行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	水路等の切回しの実施	位置	河川の改変及び水底の掘削を行う箇所	環境保全措置の効果		河川内の工事に際し水路等の切回しを行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし		
調査地点	全期間																																																									
	最小	最大	平均																																																							
太田切川	7.5	8.3	7.8																																																							
小田切川	7.5	7.9	7.7																																																							
大沢川（宮田村）	7.7	<u>8.6</u>	8.0																																																							
堂沢川	7.0	<u>8.6</u>	7.5																																																							
天竜川	7.8	8.4	8.1																																																							
大沢川（伊那市）	7.9	8.5	8.3																																																							
三峰川	8.0	<u>9.1</u>	8.5																																																							
実施主体		長野県																																																								
実施内容	種類	水路等の切回しの実施																																																								
	位置	河川の改変及び水底の掘削を行う箇所																																																								
環境保全措置の効果		河川内の工事に際し水路等の切回しを行うことにより、改変により巻き上げられる浮遊物質及びコンクリート打設により発生するアルカリ排水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。																																																								
効果の不確実性		なし																																																								
他の環境への影響		特になし																																																								

表 13-1 (18)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																	
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																					
水質	水の濁り	工事の実施 （切土工等 又は既存の 工作物の除 去、工事施 工ヤードの 設置及び工 事用道路等 の設置）	流速の調査結果は、太田切川（0.16～1.21m/s）、小田切川（0.31～0.92m/s）、大沢川（宮田村）（0.36～1.65m/s）、堂沢川（0.34～0.70m/s）及び大沢川（伊那市）（0.45～1.92m/s）では、各月の増減は見られるものの、1年間を通してほぼ横ばい傾向であった。天竜川では、0.92m/sであり、他の地点とほぼ同様の値であった。三峰川では、平成28年6月（2.72m/s）に高い値を示した。		<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>速やかな転圧及び法面整形</td></tr><tr><td>位置</td><td>工事により出現する法面</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>土工部の速やかな転圧及び法面整形により、降雨時に発生する濁水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	速やかな転圧及び法面整形	位置	工事により出現する法面	環境保全措置の効果		土工部の速やかな転圧及び法面整形により、降雨時に発生する濁水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	
		実施主体				長野県																	
	実施内容	種類	速やかな転圧及び法面整形																				
		位置	工事により出現する法面																				
環境保全措置の効果		土工部の速やかな転圧及び法面整形により、降雨時に発生する濁水の周辺河川への流出を防止することで、水の濁りに係る影響を低減できることから、本環境保全措置を採用する。																					
効果の不確実性		なし																					
他の環境への影響		特になし																					
工事の実施 （水底の掘削）	<気象（降雨）の状況> 伊那気象観測所は平成28年10月（14.5mm/日）、辰野気象観測所は平成28年9月（52.5mm/日）において最も降水量が多かった。																						
水の汚れ	工事の実施 （水底の掘削）	<土質の状況> 太田切川は巨礫、玉石及び砂利、小田切川、大沢川（宮田村）及び三峰川は玉石及び砂利、堂沢川は砂、天竜川は巨礫及び玉石、大沢川（伊那市）は砂利であった。																					
		<水底の土砂の状況> 水底の土砂の粒径組成比率は、太田切川、小田切川、大沢川（宮田村）、天竜川及び三峰川ではコブル75mm以上、堂沢川では細砂分0.075mm以上、大沢川（伊那市）では中礫分4.75mm以上の組成比率が最も高かった。																					

表 13-1 (19)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果						
	環境要素 の区分	影響要因 の区分										
水質	水の濁り	工事の実施 （切土工等 又は既存の 工作物の除 去、工事施 工ヤードの 設置及び工 事用道路等 の設置）			＜事後調査＞ 以下の項目について、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。 <table><tr><th>調査項目</th><th>調査内容</th><th>実施主体</th></tr><tr><td>水の濁り及び水の汚れ</td><td>○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 浮遊物質量（SS）及び水素イオン濃度（pH）の測定</td><td>長野県</td></tr></table>	調査項目	調査内容	実施主体	水の濁り及び水の汚れ	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 浮遊物質量（SS）及び水素イオン濃度（pH）の測定	長野県	
		調査項目				調査内容	実施主体					
水の濁り及び水の汚れ	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 浮遊物質量（SS）及び水素イオン濃度（pH）の測定	長野県										
水の汚れ	工事の実施 （水底の掘削）											

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果		
	環境要素 の区分	影響要因 の区分						
水象	河川	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在）	＜流量＞ 流量は、「切土工等又は既存の工作物の除去、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置に係る水の濁り及び水底の掘削に係る水の濁り並びに水の汚れ」に示すとおりである。	計画路線周辺には、三峰川渡河部の下流に1箇所、天竜川渡河部の下流に3箇所の農業用取水口があるが、農業用水路は改変を行わず、機能の確保に努める計画であることから、取水量に変化はなく、流量への影響はないと予測される。計画路線が渡河する橋梁について、橋台設置時に護岸改修を伴う箇所は河川の流れを阻害しない河川幅を確保し、橋脚設置が必要な橋梁は必要以上に橋脚の断面積を大きくせずに河川への影響を最小限にする。また、一部区間で河道の切り回しを行うが、改変面積の縮小及び早期復旧に努めることから、河川の流量への影響はないと予測される。	＜環境保全措置＞ 予測結果より、道路（地表式又は掘割式）の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去に係る河川への影響はないと判断し、環境保全措置の検討は行わないものとする。	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、改変量を極力抑えた計画としており、河川への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、予測結果から、道路（地表式又は掘割式）の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去に係る河川への影響はないと予測されるため、道路（地表式又は掘割式）の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去に伴う環境影響を及ぼすことはないと考え。なお、予測結果を検証するため、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。		
		工事の実施 （切土工等又は既存の工作物の除去）	＜流況＞ 伊那観測所における過去5年間（平成24年度～平成28年度）の流量の年平均値は、31.13 m ³ /sから38.29 m ³ /sの間で推移している。 ＜浸食・堆砂の状況＞ 太田切川、小田切川、大沢川（伊那市）及び三峰川は浸食、大沢川（宮田村）は三面コンクリート、堂沢川は堆砂であった。また、天竜川において、計画路線上は浸食であったが、河川全体では堆砂の箇所も存在している。 ＜水道水源の状況＞ 都市計画対象道路事業実施区域周辺には、表流水、伏流水、浅井戸、深井戸及び湧水を水源とする水道水源が29箇所存在する。 ＜農業用水路の状況＞ 都市計画対象道路事業実施区域周辺には、農業用の取水口が5箇所及び排水口が20箇所存在する。また、多数の水路が存在する。				＜事後調査＞ 以下の項目について、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。 <table><tr><th>調査項目</th><th>調査内容</th><th>実施主体</th></tr><tr><td>河川の流量</td><td>○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 河川の流量の測定</td><td>長野県</td></tr></table> ＜事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応＞ 事後調査の結果により、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、専門家の意見及び指導を得ながら、必要に応じて適切な措置を講ずる。 ＜事後調査結果の公表方法＞ 事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。	調査項目
調査項目	調査内容	実施主体						
河川の流量	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 河川の流量の測定	長野県						

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																				
水象	地下水	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在）	＜既存井戸の状況＞ 既存井戸の状況は、「道路（地表式又は掘割式）の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去に係る河川」に示すとおりである。なお、道路（地表式又は掘割式）の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去に係る影響を受けるおそれがある計画路線の周囲に、大規模な民間取水施設は存在しない。	予測に用いた各地点の地下水位は、現地調査地点の地下水位の最高値と、現地調査地点と予測地点との距離から推測した。予測地点の地下水位はそれぞれ宮田村大久保が標高約587m、宮田村中越が標高約601mであり、計画高はそれぞれ、宮田村大久保が標高595.4～596.7m、宮田村中越が標高599.8～602.9mであった。このことから、宮田村中越では、地下水を遮断すると予測される。	＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>通水工法の採用</td></tr><tr><td>位置</td><td>トンネル部及び切土箇所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>通水工法を採用することにより、地下水流動環境の変化を防ぐことで、地下水への影響を低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	通水工法の採用	位置	トンネル部及び切土箇所	環境保全措置の効果		通水工法を採用することにより、地下水流動環境の変化を防ぐことで、地下水への影響を低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は、路線選定段階で地下水に影響を与える可能性がある切土及びトンネル区間を抑制し、事業全体として影響低減に努めることによる改変量を極力抑えた計画としており、地下水への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、切土及びトンネル区間では、環境保全措置として「通水工法の採用」及び「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」を実施し、環境負荷の回避・低減を図っている。なお、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。 なお、都市計画対象道路事業実施区域周辺の個別の井戸等については、工事着手以前に井戸分布等の詳細な調査を、工事中及び工事終了段階で影響の有無の確認を行う。各段階において影響が認められる場合は、適切な対策を講じる。また、トンネル部及び切土箇所の掘削工事による地下水の低下等の影響が懸念される箇所において、設計段階で構造物設置位置でのボーリング調査を実施するなど、詳細なデータ収集を行い、それを利用した検討を行うことで、確実に対策を実施する。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲でできる限り回避又は低減されるものと評価する。															
		実施主体		長野県																																		
実施内容	種類	通水工法の採用																																				
	位置	トンネル部及び切土箇所																																				
環境保全措置の効果		通水工法を採用することにより、地下水流動環境の変化を防ぐことで、地下水への影響を低減できる。																																				
効果の不確実性		なし																																				
他の環境への影響		特になし																																				
工事の実施 （切土工等又は既存の工作物の除去）	●地下水位(標高)の状況の調査結果 [単位：m] <table><tr><td>調査地点</td><td>平均水位</td></tr><tr><td>(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近①</td><td>583.9</td></tr><tr><td>(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近②</td><td>602.5</td></tr><tr><td>(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近③</td><td>604.0以下</td></tr><tr><td>(仮称) 宮田村中越崖線付近</td><td>600.0</td></tr><tr><td>大沢川渡河部付近①</td><td>653.3</td></tr><tr><td>大沢川渡河部付近②</td><td>647.2</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近①</td><td>675.0</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近②</td><td>681.7</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近③</td><td>678.0</td></tr></table> 注：(仮称)宮田村大久保つつじが丘崖線付近③はG. L. -20m地点で地下水が観測されなかった。	調査地点	平均水位	(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近①	583.9	(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近②	602.5	(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近③	604.0以下	(仮称) 宮田村中越崖線付近	600.0	大沢川渡河部付近①	653.3	大沢川渡河部付近②	647.2	伊那街道交差部付近①	675.0	伊那街道交差部付近②	681.7	伊那街道交差部付近③	678.0	●地下水の予測結果 [単位：m] <table><tr><td>予測地点</td><td>地下水位</td><td>計画高 (道路構造)</td></tr><tr><td>宮田村大久保</td><td>約 587</td><td>595.4～596.7 (切土)</td></tr><tr><td>宮田村中越</td><td>約 601</td><td>599.8～602.9 (ボックスカルバート)</td></tr></table>	予測地点	地下水位	計画高 (道路構造)	宮田村大久保	約 587	595.4～596.7 (切土)	宮田村中越	約 601	599.8～602.9 (ボックスカルバート)	＜事後調査＞ 以下の項目について、詳細な工事計画策定後、関係機関及び専門家等の意見指導を得ながら、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときは環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。 <table><tr><td>調査項目</td><td>調査内容</td><td>実施主体</td></tr><tr><td>地下水位及び地下水質</td><td>○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 地下水への影響があると予測される地域 ○調査方法 地下水位及び地下水質の観測</td><td>長野県</td></tr></table>	調査項目	調査内容	実施主体	地下水位及び地下水質	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 地下水への影響があると予測される地域 ○調査方法 地下水位及び地下水質の観測	長野県
調査地点	平均水位																																					
(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近①	583.9																																					
(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近②	602.5																																					
(仮称) 宮田村大久保つつじが丘崖線付近③	604.0以下																																					
(仮称) 宮田村中越崖線付近	600.0																																					
大沢川渡河部付近①	653.3																																					
大沢川渡河部付近②	647.2																																					
伊那街道交差部付近①	675.0																																					
伊那街道交差部付近②	681.7																																					
伊那街道交差部付近③	678.0																																					
予測地点	地下水位	計画高 (道路構造)																																				
宮田村大久保	約 587	595.4～596.7 (切土)																																				
宮田村中越	約 601	599.8～602.9 (ボックスカルバート)																																				
調査項目	調査内容	実施主体																																				
地下水位及び地下水質	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 地下水への影響があると予測される地域 ○調査方法 地下水位及び地下水質の観測	長野県																																				

表 13-1 (22)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																				
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																								
水象	地下水	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在）	＜滞水層の地質・水理の状況＞ 滞水層の地質・水理の状況は、各調査地点の地下水はそれぞれ、玉石混じり砂礫の層、シルト混じり砂礫及び強風化黒雲母片岩の層、シルト混じり砂礫の層に存在している。なお、（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近③は玉石混じり砂礫の層より下に存在すると推測される。 ●滞水層の地質・水理の状況の調査結果 <table><tr><th>調査地点</th><th>滞水層の地質・水理の状況</th></tr><tr><td>（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近①</td><td>玉石混じり砂礫</td></tr><tr><td>（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近②</td><td>玉石混じり砂礫</td></tr><tr><td>（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近③</td><td>玉石混じり砂礫</td></tr><tr><td>（仮称）宮田村中越崖線付近</td><td>シルト混じり砂礫及び強風化黒雲母片岩</td></tr><tr><td>大沢川渡河部付近①</td><td>玉石混じり砂礫</td></tr><tr><td>大沢川渡河部付近②</td><td>玉石混じり砂礫</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近①</td><td>シルト混じり砂礫</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近②</td><td>シルト混じり砂礫</td></tr><tr><td>伊那街道交差部付近③</td><td>シルト混じり砂礫</td></tr></table>	調査地点	滞水層の地質・水理の状況	（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近①	玉石混じり砂礫	（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近②	玉石混じり砂礫	（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近③	玉石混じり砂礫	（仮称）宮田村中越崖線付近	シルト混じり砂礫及び強風化黒雲母片岩	大沢川渡河部付近①	玉石混じり砂礫	大沢川渡河部付近②	玉石混じり砂礫	伊那街道交差部付近①	シルト混じり砂礫	伊那街道交差部付近②	シルト混じり砂礫	伊那街道交差部付近③	シルト混じり砂礫		＜事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応＞ 事後調査の結果により、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、専門家の意見及び指導を得ながら、必要に応じて適切な措置を講ずる。 ＜事後調査結果の公表方法＞ 事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。	
		調査地点		滞水層の地質・水理の状況																						
（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近①	玉石混じり砂礫																									
（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近②	玉石混じり砂礫																									
（仮称）宮田村大久保つつじが丘崖線付近③	玉石混じり砂礫																									
（仮称）宮田村中越崖線付近	シルト混じり砂礫及び強風化黒雲母片岩																									
大沢川渡河部付近①	玉石混じり砂礫																									
大沢川渡河部付近②	玉石混じり砂礫																									
伊那街道交差部付近①	シルト混じり砂礫																									
伊那街道交差部付近②	シルト混じり砂礫																									
伊那街道交差部付近③	シルト混じり砂礫																									
工事の実施 （切土工等又は既存の工作物の除去）																										

表 13-1 (23)環境影響評価結果の総合的な評価																							
環境要素 の大区分	項 目		調 査 結 果	予 測 結 果	環 境 保 全 措 置 及 び 事 後 調 査	評 価 結 果																	
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																					
地形及び 地質	重要な地 形及び地 質	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）	＜地形及び地質の概況＞ ●地形の概況 調査区域は、天竜川等の河川沿いに扇状地 性低地が分布し、その周囲に台地、更に丘陵 地を挟み、山地となる地形となっている。 ●地質の概況 調査区域は、天竜川及び三峰川の低地・台 地・山麓地で、堆積岩類の湖成堆積物、河成 堆積物及び崩壊堆積物が広く分布している。 ＜重要な地形と自然物及び地質の分布、状態 及び特性＞ 重要な地形及び地質として、天竜川右岸の 河岸段丘と新期断層及び丸山井がある。天竜 川右岸の河岸段丘と新期断層は、日本の地形 レッドデータブックにおいてCランクに指定 されている。	●改変に伴う消失又は縮小 天竜川右岸の河岸段丘と新期断層は、事業の実施により消失又は縮小が発生すると予測される。丸山井は、改変が行われないため、消失又は縮小の影響はないと予測される。 ●重要な地形及び地質に係る周辺環境条件の変化に伴う影響 天竜川右岸の河岸段丘と新期断層の分布する地域は、既に道路が複数存在しており、対象事業の実施によりさらに開発がなされることで、周辺環境の変化による風化や劣化の促進等の影響があると予測される。丸山井は、井筋の整備と案内看板が設置され良好に保全されており、直近にある道路を走行する自動車等による振動の影響もみられないため、周辺環境の変化による風化や劣化の促進等の影響はないと予測される。	＜環境保全措置＞ 事業実施段階において、改変量をできる限り小さくする措置の実施に当たって、専門家等の意見を聴取する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造の選定</td></tr><tr><td>位置</td><td>重要な地形及び地質を改変する箇所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造を選定することで、重要な地形及び地質への影響を回避又は低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造の選定	位置	重要な地形及び地質を改変する箇所	環境保全措置の効果		改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造を選定することで、重要な地形及び地質への影響を回避又は低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、段丘崖をできる限り回避した計画としており、重要な地形及び地質への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造の選定」及び「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」を実施し、大規模開発による重要地形の破壊を最小限にする。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。
		実施主体				長野県																	
実施内容	種類	改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造の選定																					
	位置	重要な地形及び地質を改変する箇所																					
環境保全措置の効果		改変区域をできる限り小さくしたルート及び道路構造を選定することで、重要な地形及び地質への影響を回避又は低減できる。																					
効果の不確実性		なし																					
他の環境への影響		特になし																					
	工事の実施 （工事施工 ヤードの設置及び工事 用道路等の 設置）																						
＜事後調査＞ 予測手法は事業の実施に伴う改変範囲と重要な地形及び地質の分布範囲を重ね合わせるにより行っており、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。																							

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果
	環境要素 の区分	影響要因 の区分				
その他の 環境要素	日照障害	存在・供用 （道路（嵩上式）の存在）	＜住居等の状況＞ 調査地域全体に40数軒ほどの1～3階建ての住居等が立地している。概ね1階建てと2階建てが占めている。なお、調査地域に著しい日影の影響を及ぼすおそれのある中高層建築物は存在しない。 ●住居等の状況の調査結果	予測値は、いずれの地点でも「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」（昭和51年2月23日 建設省計用発第4号）の参考となる指標*以下である。 ※：参考となる指標は、2階で5時間である。 ●日照障害の予測結果	＜環境保全措置＞ 予測結果より、道路（嵩上式）の存在に係る日照障害に関しては「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」の参考となる指標を下回ると考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 ＜事後調査＞ 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、予測結果から道路（嵩上式）の存在に係る日照障害に関しては日照障害の参考となる指標を下回ると考えられるため、事業の実施に伴う著しい環境影響を及ぼすことはないと考えられる。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 ＜基準又は目標との整合性に係る評価＞ 評価結果より、道路（嵩上式）の存在に係る日照障害の予測値は、全ての予測地点で参考となる指標を下回っており、基準等の整合は図られているものと評価する。 ●日照障害の評価結果

表 13-1 (25)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																					
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																									
動物	重要な種 及び注目 すべき生 息地	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）	＜動物相の状況＞ 現地調査で確認された動物は以下のとおり である。 ●動物相の状況の調査結果 <table><tr><th>項目</th><th colspan="3">確認種数</th></tr><tr><td>哺乳類</td><td>6目</td><td>12科</td><td>18種</td></tr><tr><td>鳥類（一般）</td><td>15目</td><td>37科</td><td>102種</td></tr><tr><td>鳥類（猛禽類）</td><td>3目</td><td>4科</td><td>14種</td></tr><tr><td>両生類</td><td>2目</td><td>4科</td><td>8種</td></tr><tr><td>爬虫類</td><td>1目</td><td>3科</td><td>8種</td></tr><tr><td>魚類</td><td>6目</td><td>9科</td><td>24種</td></tr><tr><td>昆虫類</td><td>24目</td><td>281科</td><td>1,510種</td></tr><tr><td>クモ類</td><td>1目</td><td>23科</td><td>132種</td></tr><tr><td>底生動物</td><td>22目</td><td>83科</td><td>192種</td></tr><tr><td>陸産貝類</td><td>3目</td><td>15科</td><td>54種</td></tr></table> ＜重要な種等の状況＞ ●重要な種等の状況の調査結果 <table><tr><th>項目</th><th colspan="3">確認種</th></tr><tr><td>哺 乳 類</td><td>1種</td><td colspan="2">カヤネズミ</td></tr><tr><td rowspan="2">鳥 類</td><td>16種</td><td colspan="2">【一般鳥類調査】 オシドリ、チュウサギ、イカル チドリ、オオジシギ、ミサゴ、 ハチクマ、ツミ、ハイタカ、オ オタカ、サシバ、チゴハヤブサ、 ハヤブサ、サンショウクイ、サ ンコウチョウ、ノビタキ、ホオ アカ</td></tr><tr><td>9種</td><td colspan="2">【猛禽類調査】 ミサゴ、ハチクマ、ツミ、ハイ タカ、オオタカ、サシバ、クマ タカ、アオバズク、ハヤブサ</td></tr><tr><td>両 生 類</td><td>3種</td><td colspan="2">アカハライモリ、ツチガエル</td></tr><tr><td>爬 虫 類</td><td>2種</td><td colspan="2">タカチホヘビ、ヒバカリ</td></tr><tr><td rowspan="2">魚 類</td><td rowspan="2">8種</td><td colspan="2">スナヤツメ類、ゲンゴロウブ ナ、ドジョウ、アユ、サクラ マス（ヤマメ）、サツキマス （アマゴ）、ミナミメダカ、 カジカ大卵型、カジカ属の一 種</td></tr><tr><td colspan="2">ホソミイトトンボ、モートン イトトンボ、アオハダトン ボ、ノギカワゲラ、ウスバカ マキリ、エゾエンマコオロ ギ、クロハサミムシ、クギヌ キハサミムシ、エノキカイガ ラキジラミ、コオイムシ、タ イコウチ、ベニモンマキバサ シガメ、ヒラタハナカメム シ、シロヘリツチカメムシ、 ナカボシカメムシ</td></tr></table>	項目	確認種数			哺乳類	6目	12科	18種	鳥類（一般）	15目	37科	102種	鳥類（猛禽類）	3目	4科	14種	両生類	2目	4科	8種	爬虫類	1目	3科	8種	魚類	6目	9科	24種	昆虫類	24目	281科	1,510種	クモ類	1目	23科	132種	底生動物	22目	83科	192種	陸産貝類	3目	15科	54種	項目	確認種			哺 乳 類	1種	カヤネズミ		鳥 類	16種	【一般鳥類調査】 オシドリ、チュウサギ、イカル チドリ、オオジシギ、ミサゴ、 ハチクマ、ツミ、ハイタカ、オ オタカ、サシバ、チゴハヤブサ、 ハヤブサ、サンショウクイ、サ ンコウチョウ、ノビタキ、ホオ アカ		9種	【猛禽類調査】 ミサゴ、ハチクマ、ツミ、ハイ タカ、オオタカ、サシバ、クマ タカ、アオバズク、ハヤブサ		両 生 類	3種	アカハライモリ、ツチガエル		爬 虫 類	2種	タカチホヘビ、ヒバカリ		魚 類	8種	スナヤツメ類、ゲンゴロウブ ナ、ドジョウ、アユ、サクラ マス（ヤマメ）、サツキマス （アマゴ）、ミナミメダカ、 カジカ大卵型、カジカ属の一 種		ホソミイトトンボ、モートン イトトンボ、アオハダトン ボ、ノギカワゲラ、ウスバカ マキリ、エゾエンマコオロ ギ、クロハサミムシ、クギヌ キハサミムシ、エノキカイガ ラキジラミ、コオイムシ、タ イコウチ、ベニモンマキバサ シガメ、ヒラタハナカメム シ、シロヘリツチカメムシ、 ナカボシカメムシ		予測の結果、予測対象とした哺乳類1種、鳥類21種、 両生類3種、爬虫類2種、魚類6種、昆虫類51種、クモ類1 種、底生動物11種、陸産貝類8種のうち、19種で生息環 境を改変しないなどにより種の生息及びその主な生息 環境に変化は生じない。また、85種で生息環境の一部が 消失・縮小、分断されるが、周辺に同質の生息環境が広 く又は一定規模分布するなどにより、種及びその主な生 息環境が保全されると予測される。	＜環境保全措置＞ 環境保全措置の実施に当たっては、専門家 等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。締切・沈砂池から排水する場合、事業実 施段階において、関係機関と協議して適切な 排水水質の目標値を設定の上、適切に処理する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事施工ヤード及び工事 用道路の計画路線区域内 利用</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実 施区域内</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>動物全般</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>改変区域を極力少なく し、生息環境への影響を 低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>移動経路の確保 （カルバートや誘導柵、 歩行空間を併設した埋設 水路等を設置）</td></tr><tr><td>位置</td><td>盛土構造区間</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>哺乳類・両生類・爬虫類・ 魚類（移動能力の大きい 動物）</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>移動経路の機能を確保す ること、移動能力の大 きい動物に対して生息へ の影響を低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>照明の漏れ出しの抑制</td></tr><tr><td>位置</td><td>河川橋梁、交差点部</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>夜行性動物、走光性動物</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>夜行性の動物、光に誘引 される習性をもつ動物の 生活の攪乱を低減するこ とができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事 用道路の計画路線区域内 利用	位置	都市計画対象道路事業実 施区域内	保全対象		動物全般	環境保全措置の効果		改変区域を極力少なく し、生息環境への影響を 低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	移動経路の確保 （カルバートや誘導柵、 歩行空間を併設した埋設 水路等を設置）	位置	盛土構造区間	保全対象		哺乳類・両生類・爬虫類・ 魚類（移動能力の大きい 動物）	環境保全措置の効果		移動経路の機能を確保す ること、移動能力の大 きい動物に対して生息へ の影響を低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	照明の漏れ出しの抑制	位置	河川橋梁、交差点部	保全対象		夜行性動物、走光性動物	環境保全措置の効果		夜行性の動物、光に誘引 される習性をもつ動物の 生活の攪乱を低減するこ とができる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、河川では、中規 模河川は流水部に橋脚を伴わない橋梁形式で、大規模河 川は改変範囲を橋脚の一部に留め、動物の生息への環境 負荷の回避・低減を図っている。また、希少な動植物の 生息・生育地、動物の移動経路となっている連続した段 丘林等では、当該樹林地を極力避けるルート設定や高架 構造での通過により消失の回避を可能な限り行ってい る。市街地、集落や配慮が必要な施設への影響を極力避 けたルートを基本としているが、河川、段丘林、優良農 地など、動植物の生息・生育等への影響が可能な限り小 さくなるよう配慮した計画であり、動物への環境負荷の 回避・低減を図っている。工事の実施においては、「工 事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用」、 「工事工程の検討及び段階的な土地の改変」、「低騒音 型・低振動型機械の使用」及び「締切・沈砂地等の濁水処 理の実施」、道路の存在においては、「移動経路の確保」 及び「照明の漏れ出しの抑制」の環境保全措置に努める ことから、重要な動物の生息環境及び種の生息並びに生 息地は保全され、環境負荷の回避・低減に努めていると 考える。また、「ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ」の3 種の猛禽類（ワシ・タカ類）は、繁殖時の営巣中心や行 動圏を変える習性があり、現地調査で繁殖及びその可能 性が確認された重要な鳥類に該当することから、事後調 査を実施してより適切に環境影響の回避・低減を図り、 予測し得ない影響が生じる場合は別途対策を講ずるも のとする。以上のことより、環境影響は事業者の実行可 能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているもの と評価する。
		項目	確認種数																																																																																																																																								
哺乳類	6目	12科	18種																																																																																																																																								
鳥類（一般）	15目	37科	102種																																																																																																																																								
鳥類（猛禽類）	3目	4科	14種																																																																																																																																								
両生類	2目	4科	8種																																																																																																																																								
爬虫類	1目	3科	8種																																																																																																																																								
魚類	6目	9科	24種																																																																																																																																								
昆虫類	24目	281科	1,510種																																																																																																																																								
クモ類	1目	23科	132種																																																																																																																																								
底生動物	22目	83科	192種																																																																																																																																								
陸産貝類	3目	15科	54種																																																																																																																																								
項目	確認種																																																																																																																																										
哺 乳 類	1種	カヤネズミ																																																																																																																																									
鳥 類	16種	【一般鳥類調査】 オシドリ、チュウサギ、イカル チドリ、オオジシギ、ミサゴ、 ハチクマ、ツミ、ハイタカ、オ オタカ、サシバ、チゴハヤブサ、 ハヤブサ、サンショウクイ、サ ンコウチョウ、ノビタキ、ホオ アカ																																																																																																																																									
	9種	【猛禽類調査】 ミサゴ、ハチクマ、ツミ、ハイ タカ、オオタカ、サシバ、クマ タカ、アオバズク、ハヤブサ																																																																																																																																									
両 生 類	3種	アカハライモリ、ツチガエル																																																																																																																																									
爬 虫 類	2種	タカチホヘビ、ヒバカリ																																																																																																																																									
魚 類	8種	スナヤツメ類、ゲンゴロウブ ナ、ドジョウ、アユ、サクラ マス（ヤマメ）、サツキマス （アマゴ）、ミナミメダカ、 カジカ大卵型、カジカ属の一 種																																																																																																																																									
		ホソミイトトンボ、モートン イトトンボ、アオハダトン ボ、ノギカワゲラ、ウスバカ マキリ、エゾエンマコオロ ギ、クロハサミムシ、クギヌ キハサミムシ、エノキカイガ ラキジラミ、コオイムシ、タ イコウチ、ベニモンマキバサ シガメ、ヒラタハナカメム シ、シロヘリツチカメムシ、 ナカボシカメムシ																																																																																																																																									
実施主体		長野県																																																																																																																																									
実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事 用道路の計画路線区域内 利用																																																																																																																																									
	位置	都市計画対象道路事業実 施区域内																																																																																																																																									
保全対象		動物全般																																																																																																																																									
環境保全措置の効果		改変区域を極力少なく し、生息環境への影響を 低減できる。																																																																																																																																									
効果の不確実性		なし																																																																																																																																									
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																									
実施主体		長野県																																																																																																																																									
実施内容	種類	移動経路の確保 （カルバートや誘導柵、 歩行空間を併設した埋設 水路等を設置）																																																																																																																																									
	位置	盛土構造区間																																																																																																																																									
保全対象		哺乳類・両生類・爬虫類・ 魚類（移動能力の大きい 動物）																																																																																																																																									
環境保全措置の効果		移動経路の機能を確保す ること、移動能力の大 きい動物に対して生息へ の影響を低減できる。																																																																																																																																									
効果の不確実性		なし																																																																																																																																									
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																									
実施主体		長野県																																																																																																																																									
実施内容	種類	照明の漏れ出しの抑制																																																																																																																																									
	位置	河川橋梁、交差点部																																																																																																																																									
保全対象		夜行性動物、走光性動物																																																																																																																																									
環境保全措置の効果		夜行性の動物、光に誘引 される習性をもつ動物の 生活の攪乱を低減するこ とができる。																																																																																																																																									
効果の不確実性		なし																																																																																																																																									
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																									

表 13-1 (27)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果						
	環境要素 の区分	影響要因 の区分										
動物	重要な種 及び注目 すべき生 息地	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）			＜事後調査＞ 以下の項目について環境影響評価法に基づ く事後調査を実施する。なお、ナゴヤダルマ ガエル、クロツバメシジミ、ミヤマシジミ及 びオオムラサキについては、地元保護団体や 研究機関による研究対象等により、地域で注 目されている種であることから、別途、工事 中及び供用後に専門家の意見を聞きながら調 査を行うものとする。 <table><tr><th>調査項目</th><th>調査内容</th><th>実施主体</th></tr><tr><td>営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお そのあ る重要な 猛 禽 類 （ハチク マ、オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査</td><td>○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認</td><td>長野県</td></tr></table>	調査項目	調査内容	実施主体	営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお そのあ る重要な 猛 禽 類 （ハチク マ、オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査	○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認	長野県	
		調査項目				調査内容	実施主体					
営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお そのあ る重要な 猛 禽 類 （ハチク マ、オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査	○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認	長野県										
工事の実施 （建設機械 の稼働、工 事施工ヤー ドの設置及 び工事用道 路等の設 置）												
＜事後調査の結果により環境影響の程度が著 しいことが判明した場合の対応＞ 事後調査の結果により、繁殖時の調査対象 の種・個体の営巣中心の移動等、事前に予測し 得ない事業の実施による繁殖への著しい影響 が生じることが判明した場合は、事業者が関 係機関と協議し、専門家の意見を得ながら、 必要に応じて適切な措置を講ずる。 ＜事後調査結果の公表方法＞ 事後調査結果の公表方法については、原則 として事業者が行うものとするが、公表時期・ 方法については、関係機関と連携しつつ、適 切に実施するものとする。												

表 13-1 (28)環境影響評価結果の総合的な評価																																																							
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																	
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																					
植物	重要な種 及び群落	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在及び道路（嵩上式）の存在）	＜植物相及び植生の状況＞ 現地調査で確認された植物及び植生は以下のとおりである。 ●植物相及び植生の状況の調査結果 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>確認種数等</th></tr><tr><td rowspan="4">植物相</td><td>維管束植物</td><td>132科896種</td></tr><tr><td>非維管束植物</td><td>35目 77科282種</td></tr><tr><td>付着藻類</td><td>16目 24科121種</td></tr><tr><td>大型菌類</td><td>19目 53科161種</td></tr><tr><td rowspan="2">植 生</td><td>植 物 群 落</td><td>21区分</td></tr><tr><td>土地利用等</td><td>6区分</td></tr></table>	項目		確認種数等	植物相	維管束植物	132科896種	非維管束植物	35目 77科282種	付着藻類	16目 24科121種	大型菌類	19目 53科161種	植 生	植 物 群 落	21区分	土地利用等	6区分	予測の結果、維管束植物16種、非維管束植物5種の予測対象のうち、7種で生育環境を改変しないなどにより、種及びその主な生育環境に変化が生じない。また、10種では生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺に同質の生育環境が連続して広く又一定規模分布するなどにより、種及びその主な生育環境が保全されると予測される。その他、4種で生息地が計画路線内若しくはその近傍に位置することなどにより、種及びその主な生育環境が保全されないおそれがあると予測される。 ●植物の予測結果 <table><tr><th>分類</th><th>種名</th><th>影響予測</th></tr><tr><td rowspan="4">維管束植物</td><td>カラスノゴマ</td><td>保全されないおそれがある</td></tr><tr><td>メハジキ</td><td>保全されないおそれがある</td></tr><tr><td>ミズマツバ</td><td>保全されないおそれがある</td></tr><tr><td>ウリカワ</td><td>保全されないおそれがある</td></tr></table>	分類	種名	影響予測	維管束植物	カラスノゴマ	保全されないおそれがある	メハジキ	保全されないおそれがある	ミズマツバ	保全されないおそれがある	ウリカワ	保全されないおそれがある	＜環境保全措置＞ 環境保全措置の実施に当たっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。締切・沈砂池から排水する場合、事業実施段階において、関係機関と協議して適切な排水水質の目標値を設定の上、適切に処理する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><th colspan="2">実施主体</th><th>長野県</th></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域内</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>植物全般</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>改変区域を極力少なくし、生育環境への影響を低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用	位置	都市計画対象道路事業実施区域内	保全対象		植物全般	環境保全措置の効果		改変区域を極力少なくし、生育環境への影響を低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、河川では、中規模河川は流水部に橋脚を伴わない橋梁形式で、大規模河川は改変範囲を橋脚の一部に留め、植物の生育への環境負荷の回避・低減を図っている。また、希少な動植物の生息・生育地、動物の移動経路となっている連続した段丘林等では、当該樹林地を極力避けるルート設定や高架構造での通過により消失の回避を可能な限り行っている。市街地、集落や配慮が必要な施設への影響を極力避けたルートを基本としているが、河川、段丘林、優良農地など、動植物の生息・生育等への影響が可能な限り小さくなるよう配慮した計画であり、植物への環境負荷の回避・低減を図っている。一部の種で生育環境は保全されないおそれがあると予測したが、工事の実施においては、「工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用」、「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」及び「移植（代償措置）」、道路の存在においては、「照明の漏れ出しの抑制」の環境保全措置に努めることから、重要な植物の生育環境及び種の生育並びに生育地の多くは保全され、環境負荷の回避・低減に努めていると考える。なお、移植を実施した重要な種については、環境保全措置の効果の内容をより詳細なものにするため、事後調査を実施するほか、予測し得ない影響が生じた場合は別途対策を講ずるものとしている。以上のことより、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているものと評価する。
		項目		確認種数等																																																			
植物相	維管束植物	132科896種																																																					
	非維管束植物	35目 77科282種																																																					
	付着藻類	16目 24科121種																																																					
	大型菌類	19目 53科161種																																																					
植 生	植 物 群 落	21区分																																																					
	土地利用等	6区分																																																					
分類	種名	影響予測																																																					
維管束植物	カラスノゴマ	保全されないおそれがある																																																					
	メハジキ	保全されないおそれがある																																																					
	ミズマツバ	保全されないおそれがある																																																					
	ウリカワ	保全されないおそれがある																																																					
実施主体		長野県																																																					
実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用																																																					
	位置	都市計画対象道路事業実施区域内																																																					
保全対象		植物全般																																																					
環境保全措置の効果		改変区域を極力少なくし、生育環境への影響を低減できる。																																																					
効果の不確実性		なし																																																					
他の環境への影響		特になし																																																					
		工事の実施 （工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置）	＜重要な種及び群落の状況＞ 現地調査で確認された重要な種は26科32種であった。また、重要な群落等の選定基準に該当する植物群落は、調査地域に所在しないが、重要な群落等の選定基準に該当する天然記念物及び巨樹・巨木林が、調査地域内に1箇所所在する。 ●重要な種及び群落の状況の調査結果 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">確認種等</th></tr><tr><td rowspan="2">重要な種</td><td>維管束植物</td><td>16科21種</td><td>タガソデソウ、ナガミノツルキケマン、ツメレンゲ、シロヤマブキ、サイカチ、イヌハギ、カラスノゴマ、ミズマツバ、メハジキ、カワヂシャ、アキノハハコグサ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ウリカワ、ホソバミズヒキモ、イトモ、イトトリゲモ、ミクリ属の一種、アゼナルコ、シズイ、ヒトツボクロ</td></tr><tr><td>非維管束植物</td><td>7目10科11種</td><td>タンスイベニマダラ、イズミイシノカワ、クラタケ、ナガエノチャワンタケ、マンネンタケ、マントカラカサタケ、ムラサキフウセンタケ、キヒダタケ、キイロイグチ、ウコンハツ、サンコタケ</td></tr><tr><td colspan="2">群落等</td><td>1箇所</td><td>中越の榎の木(宮田村指定の天然記念物)</td></tr></table>	項目		確認種等		重要な種	維管束植物	16科21種	タガソデソウ、ナガミノツルキケマン、ツメレンゲ、シロヤマブキ、サイカチ、イヌハギ、カラスノゴマ、ミズマツバ、メハジキ、カワヂシャ、アキノハハコグサ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ウリカワ、ホソバミズヒキモ、イトモ、イトトリゲモ、ミクリ属の一種、アゼナルコ、シズイ、ヒトツボクロ	非維管束植物	7目10科11種	タンスイベニマダラ、イズミイシノカワ、クラタケ、ナガエノチャワンタケ、マンネンタケ、マントカラカサタケ、ムラサキフウセンタケ、キヒダタケ、キイロイグチ、ウコンハツ、サンコタケ	群落等		1箇所	中越の榎の木(宮田村指定の天然記念物)																																					
項目		確認種等																																																					
重要な種	維管束植物	16科21種	タガソデソウ、ナガミノツルキケマン、ツメレンゲ、シロヤマブキ、サイカチ、イヌハギ、カラスノゴマ、ミズマツバ、メハジキ、カワヂシャ、アキノハハコグサ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ウリカワ、ホソバミズヒキモ、イトモ、イトトリゲモ、ミクリ属の一種、アゼナルコ、シズイ、ヒトツボクロ																																																				
	非維管束植物	7目10科11種	タンスイベニマダラ、イズミイシノカワ、クラタケ、ナガエノチャワンタケ、マンネンタケ、マントカラカサタケ、ムラサキフウセンタケ、キヒダタケ、キイロイグチ、ウコンハツ、サンコタケ																																																				
群落等		1箇所	中越の榎の木(宮田村指定の天然記念物)																																																				

表 13-1 (29)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																				
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																								
植物	重要な種 及び群落	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）			<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>移植（代償措置）</td></tr><tr><td>位置</td><td>生育地近傍</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>代償措置対象の種</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>移植を行うことにより、 重要な種の個体の保存を 図ることができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>生育を完全に維持・保全 できるか不確実性が残 る。</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	移植（代償措置）	位置	生育地近傍	保全対象		代償措置対象の種	環境保全措置の効果		移植を行うことにより、 重要な種の個体の保存を 図ることができる。	効果の不確実性		生育を完全に維持・保全 できるか不確実性が残 る。	他の環境への影響		特になし	
		実施主体			長野県																					
実施内容	種類	移植（代償措置）																								
	位置	生育地近傍																								
保全対象		代償措置対象の種																								
環境保全措置の効果		移植を行うことにより、 重要な種の個体の保存を 図ることができる。																								
効果の不確実性		生育を完全に維持・保全 できるか不確実性が残 る。																								
他の環境への影響		特になし																								
工事の実施 （工事施工 ヤードの設 置及び工事 用道路等の 設置）	<事後調査> 以下の項目について環境影響評価法に基づ く事後調査を実施する。 <table><tr><td>調査項目</td><td>調査内容</td><td>実施主体</td></tr><tr><td>移植した 植物の生 育状況調 査</td><td>○調査時期 供用後及び工事中を 基本とし、各種の生 活史及び生育特性等 に応じて設定する。 ○調査地域 移植を講じた植物の 移植先生育地 ○調査方法 移植個体の生育状況 （株数、形状・植物 高、開花・結実状況 等）、並びに生育環 境の状況の確認</td><td>長野県</td></tr></table> <事後調査の結果により環境影響の程度が著 しいことが判明した場合の対応> 事後調査の結果により、事業の実施による 生育環境の大幅な変化等、事前に予測し得な い環境上の著しい影響が生じたことが判明し た場合は、事業者が関係機関と協議し、専門 家の意見を得ながら、必要に応じて適切な措 置を講ずる。 <事後調査結果の公表方法> 事後調査結果の公表方法については、原則 として事業者が行うものとするが、公表時期・ 方法については、関係機関と連携しつつ、適 切に実施するものとする。	調査項目	調査内容	実施主体	移植した 植物の生 育状況調 査	○調査時期 供用後及び工事中を 基本とし、各種の生 活史及び生育特性等 に応じて設定する。 ○調査地域 移植を講じた植物の 移植先生育地 ○調査方法 移植個体の生育状況 （株数、形状・植物 高、開花・結実状況 等）、並びに生育環 境の状況の確認	長野県																			
調査項目	調査内容	実施主体																								
移植した 植物の生 育状況調 査	○調査時期 供用後及び工事中を 基本とし、各種の生 活史及び生育特性等 に応じて設定する。 ○調査地域 移植を講じた植物の 移植先生育地 ○調査方法 移植個体の生育状況 （株数、形状・植物 高、開花・結実状況 等）、並びに生育環 境の状況の確認	長野県																								

表 13-1 (30)環境影響評価結果の総合的な評価																																				
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																														
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																		
生態系	地域を特徴づける生態系	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在及び道路（嵩上式）の存在）	<動植物その他の自然環境に係る概況> <table><tr><th>項目</th><th>主な状況</th></tr><tr><td>地形</td><td>調査地域は、長野県南部の標高600m～700m程度にある河岸段丘に位置し、民家や農耕地が見られる段丘面や谷底平野、樹林が見られる段丘崖、太田切川・天竜川、三峰川などの河川に分けられる。</td></tr><tr><td>水系</td><td>調査地域は、天竜川、三峰川の大規模河川が貫流し、河岸段丘の丘陵面に太田切川、小田切川、大沢川（宮田村）、堂沢川、大沢川（伊那市）などの中規模河川が流れ、先の大規模河川に合流する。</td></tr><tr><td>植生</td><td>調査地域は、ブナクラス域に相当する植生が見られる。古くから稲作、林業が広く行われているため、調査地域の大半は代償植生であり、自然植生は河川の一部でわずかに見られる程度である。段丘面や谷底平野では、水田雑草群落、畑地雑草群落、果樹園などの農耕地が最も広く分布し、道路沿い等で小面積の路傍・空地雑草群落が見られた。段丘崖では、自然植生は見られない。主にスギ・ヒノキ・サワラ植林であり、クリ・コナラ群集、ハリエンジュ群落、カラマツ植林、ケヤキ二次林がまばらに分布する。また、尾根の一部でアカマツ群落や伐採跡地群落が小面積で分布するほか、オニグルミ群落や竹林が段丘崖下部の緩傾斜地でわずかに見られた。河川では、外来種であるハリエンジュ群落が最も広く分布するが、ヤナギ高木群落、ヤナギ低木群落、ツルヨシ群集、オギ群集、カワラヨモギ群落、クサヨシ群落などの自然植生も見られた。</td></tr><tr><td>動物</td><td>調査地域の谷底平野の農耕地及びその周辺では、哺乳類はモグラ科の一種、アカネズミ、ホンドタヌキ等、鳥類は水田でアマサギ・アオサギ等のサギ類、バン等、畑地や草地周辺でヒバリ、ホオジロ、カワラヒワ、ツグミ、カシラダカ等、両生類はアカハライモリ、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ツチガエル、爬虫類はヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、昆虫類はエンマコオロギ、ショウリョウバッタ、イチモンジセセリ、ヘイケボタル等が確認された。また、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ等の猛禽類の狩場利用も見られた。段丘崖の樹林地では、哺乳類はニホンリス、ムササビ、ニホンアナグマ、ホンドタヌキ、イノシシ等、鳥類はキジバト、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ等の樹林性の種、両生類はタゴガエルやヤマアカガエル、爬虫類はタカチホヘビ、昆虫類はオツネントンボ、カラスアゲハ本土亜種、ヨコヅナサシガメ、クサギカメムシ、クスサン、ハルゼミ等が見られた。また、山地に続く樹林地では、哺乳類のホンドタヌキ、ホンドキツネ、ニホンアナグマ、イノシシ、ニホンジカ等、鳥類のキジバト、カッコウ、ツツドリ、アカゲラ、クロツグミ、キビタキ等も見られた。河川及びその周辺では、哺乳類は農耕地や樹林地で見られた種が多く確認されたほか、カヤネズミやコウモリ目の一種なども見られ、鳥類は樹林地でウグイス、ホオジロ、カワラヒワ等、水辺でカワウ、カルガモ、コチドリ、イソシギ、カワガラス、キセキレイ、ハクセキレイ等が見られ、冬季にコガモ、ヒドリガモ、ホシハジロなどのカモ類の飛来が確認された。</td></tr></table>	項目	主な状況	地形	調査地域は、長野県南部の標高600m～700m程度にある河岸段丘に位置し、民家や農耕地が見られる段丘面や谷底平野、樹林が見られる段丘崖、太田切川・天竜川、三峰川などの河川に分けられる。	水系	調査地域は、天竜川、三峰川の大規模河川が貫流し、河岸段丘の丘陵面に太田切川、小田切川、大沢川（宮田村）、堂沢川、大沢川（伊那市）などの中規模河川が流れ、先の大規模河川に合流する。	植生	調査地域は、ブナクラス域に相当する植生が見られる。古くから稲作、林業が広く行われているため、調査地域の大半は代償植生であり、自然植生は河川の一部でわずかに見られる程度である。段丘面や谷底平野では、水田雑草群落、畑地雑草群落、果樹園などの農耕地が最も広く分布し、道路沿い等で小面積の路傍・空地雑草群落が見られた。段丘崖では、自然植生は見られない。主にスギ・ヒノキ・サワラ植林であり、クリ・コナラ群集、ハリエンジュ群落、カラマツ植林、ケヤキ二次林がまばらに分布する。また、尾根の一部でアカマツ群落や伐採跡地群落が小面積で分布するほか、オニグルミ群落や竹林が段丘崖下部の緩傾斜地でわずかに見られた。河川では、外来種であるハリエンジュ群落が最も広く分布するが、ヤナギ高木群落、ヤナギ低木群落、ツルヨシ群集、オギ群集、カワラヨモギ群落、クサヨシ群落などの自然植生も見られた。	動物	調査地域の谷底平野の農耕地及びその周辺では、哺乳類はモグラ科の一種、アカネズミ、ホンドタヌキ等、鳥類は水田でアマサギ・アオサギ等のサギ類、バン等、畑地や草地周辺でヒバリ、ホオジロ、カワラヒワ、ツグミ、カシラダカ等、両生類はアカハライモリ、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ツチガエル、爬虫類はヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、昆虫類はエンマコオロギ、ショウリョウバッタ、イチモンジセセリ、ヘイケボタル等が確認された。また、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ等の猛禽類の狩場利用も見られた。段丘崖の樹林地では、哺乳類はニホンリス、ムササビ、ニホンアナグマ、ホンドタヌキ、イノシシ等、鳥類はキジバト、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ等の樹林性の種、両生類はタゴガエルやヤマアカガエル、爬虫類はタカチホヘビ、昆虫類はオツネントンボ、カラスアゲハ本土亜種、ヨコヅナサシガメ、クサギカメムシ、クスサン、ハルゼミ等が見られた。また、山地に続く樹林地では、哺乳類のホンドタヌキ、ホンドキツネ、ニホンアナグマ、イノシシ、ニホンジカ等、鳥類のキジバト、カッコウ、ツツドリ、アカゲラ、クロツグミ、キビタキ等も見られた。河川及びその周辺では、哺乳類は農耕地や樹林地で見られた種が多く確認されたほか、カヤネズミやコウモリ目の一種なども見られ、鳥類は樹林地でウグイス、ホオジロ、カワラヒワ等、水辺でカワウ、カルガモ、コチドリ、イソシギ、カワガラス、キセキレイ、ハクセキレイ等が見られ、冬季にコガモ、ヒドリガモ、ホシハジロなどのカモ類の飛来が確認された。	<樹林地の生態系> 「樹林地の生態系」の主要な生息・生育基盤は、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」の常緑針葉樹や「クリ・コナラ群集」の落葉広葉樹を中心とした樹林地になる。事業により樹林地の一部が消失・縮小するが、周辺に同様の環境が広く又は一定規模で残るほか、当該生態系の指標種である「注目種・群集」の多くは、農耕地や河川などの環境も生息・生育基盤とし、これら環境が樹林地と連続して広く存在する。また、道路の存在による光・水・風などの環境条件の変化が、主要な生息・生育基盤に間接的な影響を及ぼすおそれが考えられるが、環境条件の変化は軽微であり、主要な生息・生育基盤の変化はほとんど生じないと考える。道路の存在により移動経路の分断、生息個体の孤立といった影響が地上移動能力の大きい動物に考えられるが、周辺に同様の樹林地の環境が広く存在する又は移動に支障がない周辺範囲に同様の環境が存在するほか、橋梁の桁下空間や土工部に設置するボックスカルバート等の道路横断構造物により移動経路が複数残るため、その影響はないと考える。一部の動物において、橋梁や交差点部などに設置する道路照明により生息環境に影響を及ぼすおそれが考えられるが、照明を極力外部に向けないよう配慮するとともに、遮光板を設けるなどの光の漏れ出し防止に努めることから、生息基盤の質的变化はほとんど生じないと考える。工事の実施に当たっては、事業予定地外における改変の防止に努めるほか、猛禽類等の生息に配慮して低騒音型・低振動型の建設機械を使用し、騒音・振動の発生の低減に努めることから、主要な生息・生育基盤の質的变化はほとんど生じないと考える。よって、「樹林地の生態系」は保全されると予測される。	<環境保全措置> 環境保全措置の実施に当たっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。締切・沈砂池から排水する場合、事業実施段階において、関係機関と協議して適切な排水水質の目標値を設定の上、適切に処理する。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域内</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>動物・植物全般</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>改変区域を極力少なくし、生息・生育環境への影響を低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用	位置	都市計画対象道路事業実施区域内	保全対象		動物・植物全般	環境保全措置の効果		改変区域を極力少なくし、生息・生育環境への影響を低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、河川では、中規模河川は流水部に橋脚を伴わない橋梁形式で、大規模河川は改変範囲を橋脚の一部に留め、動植物の生息・生育への環境負荷の回避・低減を図っている。また、希少な動植物の生息・生育地、動物の移動経路となっている連続した段丘林等では、当該樹林地を極力避けるルート設定や高架構造での通過により消失の回避を可能な限り行っている。市街地、集落や配慮が必要な施設への影響を極力避けたルートを基本としているが、河川、段丘林、優良農地など、動植物の生息・生育等への影響が可能な限り小さくなるよう配慮した計画であり、生態系への環境負荷の回避・低減を図っている。工事の実施においては、「工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用」、「工事工程の検討及び段階的な土地の改変」、「低騒音型・低振動型機械の使用」及び「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」、道路の存在においては、「移動経路の確保」及び「照明の漏れ出しの抑制」の環境保全措置に努めることから、地域を特徴づける生態系の注目種・群集はその生息・生育基盤及び種の生息・生育は保全されると考える。よって、生態系を指標する注目種・群集が保全されることから、地域を特徴づける生態系は保全され、環境負荷の低減に努めていると考える。また、「オオタカ、ハヤブサ」の2種の猛禽類（ワシ・タカ類）は、繁殖時の営巣中心や行動圏を変える習性があり、現地調査で繁殖及びその可能性が確認された注目種・群集の上位性の種で重要な動物種に該当することから、事後調査を実施してより適切に環境影響の回避・低減を図り、予測し得ない影響が生じる場合は別途対策を講ずるものとする。以上のことより、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているものと評価する。
		項目	主な状況																																	
地形	調査地域は、長野県南部の標高600m～700m程度にある河岸段丘に位置し、民家や農耕地が見られる段丘面や谷底平野、樹林が見られる段丘崖、太田切川・天竜川、三峰川などの河川に分けられる。																																			
水系	調査地域は、天竜川、三峰川の大規模河川が貫流し、河岸段丘の丘陵面に太田切川、小田切川、大沢川（宮田村）、堂沢川、大沢川（伊那市）などの中規模河川が流れ、先の大規模河川に合流する。																																			
植生	調査地域は、ブナクラス域に相当する植生が見られる。古くから稲作、林業が広く行われているため、調査地域の大半は代償植生であり、自然植生は河川の一部でわずかに見られる程度である。段丘面や谷底平野では、水田雑草群落、畑地雑草群落、果樹園などの農耕地が最も広く分布し、道路沿い等で小面積の路傍・空地雑草群落が見られた。段丘崖では、自然植生は見られない。主にスギ・ヒノキ・サワラ植林であり、クリ・コナラ群集、ハリエンジュ群落、カラマツ植林、ケヤキ二次林がまばらに分布する。また、尾根の一部でアカマツ群落や伐採跡地群落が小面積で分布するほか、オニグルミ群落や竹林が段丘崖下部の緩傾斜地でわずかに見られた。河川では、外来種であるハリエンジュ群落が最も広く分布するが、ヤナギ高木群落、ヤナギ低木群落、ツルヨシ群集、オギ群集、カワラヨモギ群落、クサヨシ群落などの自然植生も見られた。																																			
動物	調査地域の谷底平野の農耕地及びその周辺では、哺乳類はモグラ科の一種、アカネズミ、ホンドタヌキ等、鳥類は水田でアマサギ・アオサギ等のサギ類、バン等、畑地や草地周辺でヒバリ、ホオジロ、カワラヒワ、ツグミ、カシラダカ等、両生類はアカハライモリ、ニホンアマガエル、トノサマガエル、ツチガエル、爬虫類はヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、昆虫類はエンマコオロギ、ショウリョウバッタ、イチモンジセセリ、ヘイケボタル等が確認された。また、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ等の猛禽類の狩場利用も見られた。段丘崖の樹林地では、哺乳類はニホンリス、ムササビ、ニホンアナグマ、ホンドタヌキ、イノシシ等、鳥類はキジバト、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ等の樹林性の種、両生類はタゴガエルやヤマアカガエル、爬虫類はタカチホヘビ、昆虫類はオツネントンボ、カラスアゲハ本土亜種、ヨコヅナサシガメ、クサギカメムシ、クスサン、ハルゼミ等が見られた。また、山地に続く樹林地では、哺乳類のホンドタヌキ、ホンドキツネ、ニホンアナグマ、イノシシ、ニホンジカ等、鳥類のキジバト、カッコウ、ツツドリ、アカゲラ、クロツグミ、キビタキ等も見られた。河川及びその周辺では、哺乳類は農耕地や樹林地で見られた種が多く確認されたほか、カヤネズミやコウモリ目の一種なども見られ、鳥類は樹林地でウグイス、ホオジロ、カワラヒワ等、水辺でカワウ、カルガモ、コチドリ、イソシギ、カワガラス、キセキレイ、ハクセキレイ等が見られ、冬季にコガモ、ヒドリガモ、ホシハジロなどのカモ類の飛来が確認された。																																			
実施主体		長野県																																		
実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用																																		
	位置	都市計画対象道路事業実施区域内																																		
保全対象		動物・植物全般																																		
環境保全措置の効果		改変区域を極力少なくし、生息・生育環境への影響を低減できる。																																		
効果の不確実性		なし																																		
他の環境への影響		特になし																																		

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																											
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																															
生態系	地域を特徴づける生態系	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在及び道路（嵩上式）の存在）	<table><tr><th>項目</th><th>主な状況</th></tr><tr><td>動物</td><td>魚類はスナヤツメの一種、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、サツキマス（アマゴ）、カジカ、カワヨシノボリなどが多く生息するほか、流れの緩やかな場所でコイ、ゲンゴロウナ、ギンブナ、モツゴ等、水路状の場所でモツゴ、ドジョウ、ミナミメダカ等が確認された。昆虫類はオオアオイトトンボ、オツネントンボ、ハグロトンボ等のトンボ類、ウルマーシマトビケラ、ニンギョウトビケラ、ガムシ、コオイムシ等が見られた。また、底生動物が河川等の水域で、陸産貝類が主に樹林地で、クモ類は生態特性に応じて農耕地、樹林地、河川及びその周辺の各場所で生息が確認されている。</td></tr></table>	項目	主な状況	動物	魚類はスナヤツメの一種、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、サツキマス（アマゴ）、カジカ、カワヨシノボリなどが多く生息するほか、流れの緩やかな場所でコイ、ゲンゴロウナ、ギンブナ、モツゴ等、水路状の場所でモツゴ、ドジョウ、ミナミメダカ等が確認された。昆虫類はオオアオイトトンボ、オツネントンボ、ハグロトンボ等のトンボ類、ウルマーシマトビケラ、ニンギョウトビケラ、ガムシ、コオイムシ等が見られた。また、底生動物が河川等の水域で、陸産貝類が主に樹林地で、クモ類は生態特性に応じて農耕地、樹林地、河川及びその周辺の各場所で生息が確認されている。	<農耕地の生態系> 「農耕地の生態系」の主要な生息・生育基盤は、「水田、畑地、果樹園」になる。事業により主要な生息・生育基盤の一部が消失・縮小するが、周辺に同様の環境が広く又は一定規模で残るほか、当該生態系の指標種である「注目種・群集」の多くは、樹林地や河川などの環境も生息・生育基盤とし、これら環境が主要な生息・生育基盤と連続して広く存在する。また、道路の存在による光・水・風などの環境条件の変化が、主要な生息・生育基盤に間接的な影響を及ぼすおそれが考えられるが、環境条件の変化は軽微であり、主要な生息・生育基盤の変化はほとんど生じないと考える。道路の存在により移動経路の分断、生息個体の孤立といった影響が地上移動能力の大きい動物に考えられるが、周辺に同様の農耕地の環境が広く存在する又は移動に支障がない周辺範囲に同様の環境が存在するほか、橋梁の桁下空間や土工部に設置するボックスカルバート等の道路横断構造物により移動経路が複数残るため、その影響はないと考える。一部の動物において、橋梁や交差点部などに設置する道路照明により生息環境に影響を及ぼすおそれが考えられるが、照明を極力外部に向けないよう配慮するとともに、遮光板を設けるなどの光の漏れ出し防止に努めることから、生息基盤の質的变化はほとんど生じないと考える。工事の実施に当たっては、事業予定地外における改変の防止、公共用水域等へ工事濁水や土砂等を直接流入の防止などの環境配慮に努めるほか、猛禽類等の生息に配慮して低騒音型・低振動型の建設機械を使用し、騒音・振動の発生の低減に努めることから、主要な生息・生育基盤の質的变化はほとんど生じないと考える。よって、「農耕地の生態系」は保全されると予測される。	<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事工程の検討及び段階的な土地の改変</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>コウモリ類、猛禽類、水生動物（両生類・魚類）</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事工程の検討及び段階的な土地の改変	位置	都市計画対象道路事業実施区域	保全対象		コウモリ類、猛禽類、水生動物（両生類・魚類）	環境保全措置の効果		繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし																				
		項目	主な状況																																														
		動物	魚類はスナヤツメの一種、オイカワ、ウグイ、アブラハヤ、カマツカ、サツキマス（アマゴ）、カジカ、カワヨシノボリなどが多く生息するほか、流れの緩やかな場所でコイ、ゲンゴロウナ、ギンブナ、モツゴ等、水路状の場所でモツゴ、ドジョウ、ミナミメダカ等が確認された。昆虫類はオオアオイトトンボ、オツネントンボ、ハグロトンボ等のトンボ類、ウルマーシマトビケラ、ニンギョウトビケラ、ガムシ、コオイムシ等が見られた。また、底生動物が河川等の水域で、陸産貝類が主に樹林地で、クモ類は生態特性に応じて農耕地、樹林地、河川及びその周辺の各場所で生息が確認されている。																																														
		実施主体		長野県																																													
実施内容	種類	工事工程の検討及び段階的な土地の改変																																															
	位置	都市計画対象道路事業実施区域																																															
保全対象		コウモリ類、猛禽類、水生動物（両生類・魚類）																																															
環境保全措置の効果		繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。																																															
効果の不確実性		なし																																															
他の環境への影響		特になし																																															
		工事の実施 （工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置）	<地域を特徴づける生態系の注目種・群集の状況> 生態系の成立環境を構成する地形及び植生に関する情報を整理し、以下に示す4つの生態系に区分した。 ○樹林地 <table><tr><th>項目</th><th>注目種・群集</th></tr><tr><td>上位性</td><td>オオタカ</td></tr><tr><td>典型性</td><td>ニホンリス、ムササビ、ホンダタヌキ、カラ類、カジカガエル、オオムラサキ</td></tr></table> ○農耕地 <table><tr><th>項目</th><th>注目種・群集</th></tr><tr><td>上位性</td><td>ハヤブサ</td></tr><tr><td>典型性</td><td>ホオジロ、カエル類（シュレーゲルアオガエル）、ドジョウ類（ドジョウ）、アジアイトトンボ、ヘイケボタル</td></tr></table> ○河川（疎林・草地） <table><tr><th>項目</th><th>注目種・群集</th></tr><tr><td>上位性</td><td>ノスリ、ホンドキツネ</td></tr><tr><td>典型性</td><td>オオヨシキリ、シュレーゲルアオガエル、ホソミオツネントンボ</td></tr></table> ○河川（開放水域） <table><tr><th>項目</th><th>注目種・群集</th></tr><tr><td>上位性</td><td>ミサゴ、サギ類</td></tr><tr><td>典型性</td><td>カヤネズミ、カモ類、イカルチドリ、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル、ウグイ、サツキマス、オナガサナエ、ミヤマシジミ</td></tr></table>	項目	注目種・群集	上位性	オオタカ	典型性	ニホンリス、ムササビ、ホンダタヌキ、カラ類、カジカガエル、オオムラサキ	項目	注目種・群集	上位性	ハヤブサ	典型性	ホオジロ、カエル類（シュレーゲルアオガエル）、ドジョウ類（ドジョウ）、アジアイトトンボ、ヘイケボタル	項目	注目種・群集	上位性	ノスリ、ホンドキツネ	典型性	オオヨシキリ、シュレーゲルアオガエル、ホソミオツネントンボ	項目	注目種・群集	上位性	ミサゴ、サギ類	典型性	カヤネズミ、カモ類、イカルチドリ、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル、ウグイ、サツキマス、オナガサナエ、ミヤマシジミ		<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>低騒音型・低振動型機械の使用</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>コウモリ類、一般鳥類、猛禽類</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>騒音・振動による事業実施区域周辺を生息域とする種への影響を低減することができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	低騒音型・低振動型機械の使用	位置	都市計画対象道路事業実施区域	保全対象		コウモリ類、一般鳥類、猛禽類	環境保全措置の効果		騒音・振動による事業実施区域周辺を生息域とする種への影響を低減することができる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし
項目	注目種・群集																																																
上位性	オオタカ																																																
典型性	ニホンリス、ムササビ、ホンダタヌキ、カラ類、カジカガエル、オオムラサキ																																																
項目	注目種・群集																																																
上位性	ハヤブサ																																																
典型性	ホオジロ、カエル類（シュレーゲルアオガエル）、ドジョウ類（ドジョウ）、アジアイトトンボ、ヘイケボタル																																																
項目	注目種・群集																																																
上位性	ノスリ、ホンドキツネ																																																
典型性	オオヨシキリ、シュレーゲルアオガエル、ホソミオツネントンボ																																																
項目	注目種・群集																																																
上位性	ミサゴ、サギ類																																																
典型性	カヤネズミ、カモ類、イカルチドリ、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル、ウグイ、サツキマス、オナガサナエ、ミヤマシジミ																																																
実施主体		長野県																																															
実施内容	種類	低騒音型・低振動型機械の使用																																															
	位置	都市計画対象道路事業実施区域																																															
保全対象		コウモリ類、一般鳥類、猛禽類																																															
環境保全措置の効果		騒音・振動による事業実施区域周辺を生息域とする種への影響を低減することができる。																																															
効果の不確実性		なし																																															
他の環境への影響		特になし																																															
				<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>締切・沈砂地等の濁水処理の実施</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域の水域（河川及び水路）</td></tr><tr><td colspan="2">保全対象</td><td>水生生物、水辺の生物</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>濁水の流出を防止し、水生生物や水辺の生物の生息・生育環境を保全することができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	締切・沈砂地等の濁水処理の実施	位置	都市計画対象道路事業実施区域の水域（河川及び水路）	保全対象		水生生物、水辺の生物	環境保全措置の効果		濁水の流出を防止し、水生生物や水辺の生物の生息・生育環境を保全することができる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし																									
実施主体		長野県																																															
実施内容	種類	締切・沈砂地等の濁水処理の実施																																															
	位置	都市計画対象道路事業実施区域の水域（河川及び水路）																																															
保全対象		水生生物、水辺の生物																																															
環境保全措置の効果		濁水の流出を防止し、水生生物や水辺の生物の生息・生育環境を保全することができる。																																															
効果の不確実性		なし																																															
他の環境への影響		特になし																																															

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果						
	環境要素 の区分	影響要因 の区分										
生態系	地域を特 徴づける 生態系	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）		＜河川の生態系＞ 「河川の生態系」 主要な生息・生育基盤は、「河川内 の疎林・草地」が「河川内の高水敷のハリエンジュやヤ ナギの疎林地や草地」に、「河川内の開放水域」が「河 川内の低水敷の水辺及び水域」になる。事業によりこれ らの主要な生息・生育基盤の一部が消失・縮小するが、周 辺に同様の環境が一定規模で残るほか、当該生態系の指 標種である「注目種・群集」の多くは、樹林地や農耕地 などの環境も生息・生育基盤とし、これら環境が河川と 近接して広く存在する。また、大規模河川では計画路線 の橋脚による水際位置の移動があっても、河川流量が変 化しないので現況の水辺と同質の環境が再構築される と考えられ、中規模河川では上流から砂礫等の供給があ るので渡河部の改修場所の周囲や切り回し場所に現況 の水辺と同質の環境が短期間で再構築されると考える ことから、主要な生息・生育基盤への間接的な影響（質 的変化）はほとんど生じないとする。計画路線は河川 内を橋梁で通過するため、移動経路の分断、生息個体の 孤立はないが、河川の近隣は道路の存在により移動経路 の分断、生息個体の孤立といった影響が地上移動能力の 大きい動物に考えられる。しかし、多くの指標種は、近 隣の樹林地や農耕地などの環境も生息・生育基盤とし、 土工部に設置するボックスカルバート等の道路横断構 造物により移動経路が複数残るため、その影響はないと 考える。一部の動物において、橋梁や交差点部などに設 置する道路照明により生息環境に影響を及ぼすおそれ が考えられるが、照明を極力外部に向けないよう配慮す るとともに、遮光板を設けるなどの光の漏れ出し防止に 努めることから、生息基盤の質的変化はほとんど生じな いとする。工事の実施に当たっては、事業予定地外に おける改変の防止、公共用水域等へ工事濁水や土砂等を 直接流入の防止などの環境配慮に努めるほか、猛禽類等 の生息に配慮して低騒音型・低振動型の建設機械を使用 し、騒音・振動の発生の低減に努めることから、主要な 生息・生育基盤の質的変化はほとんど生じないと考え る。よって、「河川の生態系」は保全されると予測され る。	＜事後調査＞ 以下の項目について環境影響評価法に基づ く事後調査を実施する。 <table><tr><th>調査項目</th><th>調査内容</th><th>実施主体</th></tr><tr><td>営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお それのあ る 注 目 種・群 集 の上位性 の種で重 要な猛禽 類（オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査</td><td>○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認</td><td>長野県</td></tr></table>	調査項目	調査内容	実施主体	営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお それのあ る 注 目 種・群 集 の上位性 の種で重 要な猛禽 類（オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査	○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認	長野県	
		調査項目			調査内容	実施主体						
営巣中心 の移動に より繁殖 に影響が 生じるお それのあ る 注 目 種・群 集 の上位性 の種で重 要な猛禽 類（オオ タカ、ハ ヤブサ） の生息状 況の確認 調査	○調査時期 工事中（着工前含む） の調査対象の繁殖期 間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類の 繁殖への影響が及ぶ と予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息 状況の確認	長野県										
工事の実施 （工事施工 ヤードの設 置及び工事 用道路等の 設置）	＜事後調査の結果により環境影響の程度が著 しいことが判明した場合の対応＞ 事後調査の結果により、繁殖時の調査対象 の種・個体の営巣中心の移動等、事前に予測し 得ない事業の実施による繁殖への著しい影響 が生じることが判明した場合は、事業者が関 係機関と協議し、専門家の意見を得ながら、 必要に応じて適切な措置を講ずる。 ＜事後調査結果の公表方法＞ 事後調査結果の公表方法については、原則 として事業者が行うものとするが、公表時期・ 方法については、関係機関と連携しつつ、適 切に実施するものとする。											

表 13-1 (33)環境影響評価結果の総合的な評価																																		
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																												
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																
景観	主要な眺望点及び 景観資源 並びに主 要な眺望 景観	存在・供用 （道路（地表式又は掘 割式）の存在及び道路 （嵩上式）の存在）	＜主要な眺望点の状況＞ 都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺において、主要な眺望点は23箇所存在する。 ＜景観資源の状況＞ 景観資源は、「河成段丘の地域（河岸段丘）」「伊那峡（峡谷）、猿岩（岩峰・岩柱）」「中央アルプス」「南アルプス」の4箇所存在する。 ＜主要な眺望景観の状況＞ 眺望点からの主要な眺望景観の状況を以下に示す。 ●主要な眺望景観の調査結果	＜主要な眺望点及び景観資源の改変＞ 主要な眺望点の改変については、都市計画対象道路事業の実施による改変はない。景観資源の改変はわずかで あり、資源の価値を大きく損なうものではないと予測される。 ＜主要な眺望景観からの景観の変化＞ 主要な眺望景観からの景観の変化の予測地点として、14地点を選定した。フォトモンタージュと視角の物理的指標による解析結果から、大久保ダム、宮田村大久保地区及び伊那市下殿島地区からの景観を眺望点とする景観は、景観の構造に変化が生じると予測される。その他の地点は、眺望点から視認される景観資源の中心領域より外れているか、可視の程度が小さい。このため、景観資源の眺望を阻害しないと予測される。	＜環境保全措置＞ ●環境保全措置の検討結果	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、盛土構造を始めとした道路構造の検討を実施しており、景観への影響に配慮し、環境負荷の低減を図っている。また、環境保全措置として、「法面等の緑化」及び「道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の検討（近景域における影響の場合）」の環境保全措置を実施することで、環境負荷を低減する。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲でできる限り低減されているものと評価する。																												
			<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>法面等の緑化</td></tr><tr><td>位置</td><td>法面が発生する箇所</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>周辺景観に調和させることが可能である。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の検討（近景域における影響の場合）</td></tr><tr><td>位置</td><td>対象眺望点（大久保ダム・宮田村大久保地区・伊那市下殿島地区）付近</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>周辺景観に調和させることが可能である。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> ＜事後調査＞ 予測手法は図上解析による改変の位置、程度の把握、主要な眺望景観の変化を把握するフォトモンタージュ等、多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性が小さいと考えられている。また、採用した環境保全措置についても効果にかかる知見が十分に把握されているものと判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	法面等の緑化	位置	法面が発生する箇所	環境保全措置の効果		周辺景観に調和させることが可能である。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	実施主体		長野県	実施内容	種類	道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の検討（近景域における影響の場合）	位置	対象眺望点（大久保ダム・宮田村大久保地区・伊那市下殿島地区）付近	環境保全措置の効果		周辺景観に調和させることが可能である。	効果の不確実性		なし
実施主体		長野県																																
実施内容	種類	法面等の緑化																																
	位置	法面が発生する箇所																																
環境保全措置の効果		周辺景観に調和させることが可能である。																																
効果の不確実性		なし																																
他の環境への影響		特になし																																
実施主体		長野県																																
実施内容	種類	道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の検討（近景域における影響の場合）																																
	位置	対象眺望点（大久保ダム・宮田村大久保地区・伊那市下殿島地区）付近																																
環境保全措置の効果		周辺景観に調和させることが可能である。																																
効果の不確実性		なし																																
他の環境への影響		特になし																																

表 13-1 (34)環境影響評価結果の総合的な評価						
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果
	環境要素 の区分	影響要因 の区分				
人と自然 との触れ 合いの活 動の場	主要な人 と自然と の触れ合 いの活動 の場	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）	<主要な人と自然との触れ合いの活動の場の 概況> 計画路線より500m程度の範囲に存在する主 要な人と自然との触れ合いの活動の場が6箇 所存在する。 ●主要な人と自然との触れ合いの活動の場の 調査結果	<主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資 源の改変> 予測の結果、多くの予測地点において、主要な触れ合 い活動の場及び自然資源に改変はない。なお、三峰川榛 原河川公園及び三峰川サイクリング・ジョギングロード は、三峰川の渡河部で計画路線と交差し、三峰川右岸は、 三峰川サイクリング・ジョギングロードに橋台が設置さ れるため、付替えが必要となる。 <利用性の変化> ・利用性の変化 予測の結果、多くの予測地点において、利用性の変化 が生じるおそれは低いと予測される。なお、三峰川榛原 河川公園及び三峰川サイクリング・ジョギングロード は、三峰川の渡河部で計画路線と交差するが、利用性の 変化が生じるおそれは低いと予測される。 ・到達時間・距離の変化 予測の結果、全ての予測地点において、事業による活 動の場への到達経路の分断は原則行われない。また、事 業により活動の場への到達時間の短縮が見込まれる。こ のため、影響が生じるおそれは低いと予測される。なお、 三峰川榛原河川公園及び三峰川サイクリング・ジョギン グロードは、事業による活動の場への到達時間は基本的 に変化しないことから、影響が生じるおそれは低いと予 測される。 <快適性の変化> 予測の結果、多くの予測地点において、快適性の変化 が生じるおそれは低いと予測される。なお、三峰川榛原 河川公園及び三峰川サイクリング・ジョギングロード は、三峰川の渡河部で計画路線と交差する。三峰川サイ クリング・ジョギングロードは、計画路線が高架及び盛 土構造で通過することから、近傍において一部風景の変 化が生じる。しかし、交差部では市道を併設するボック スカルバート構造となり、重大な圧迫感は生じない。ま た、風景の変化が生じる区間は部分的であるため、快適 性の変化が生じるおそれは低いと予測される。	<環境保全措置> ●環境保全措置の検討結果	<回避又は低減に係る評価> 計画路線の道路の計画段階において、道路（地表式又 は掘割式、嵩上式）の存在及び工事施工ヤードの設置に ついては、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を可 能な限り避け、計画路線の位置及び基本構造の検討段階 からできるだけ周辺の自然との調和を図るようにして おり、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響 に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、 環境保全措置として「法面等の緑化による調和」、「道 路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイ ン、色彩の検討（近景域における影響の場合）」、「工 事施工ヤードの設置位置の検討による地形改変の最小 化」及び「う回路の設置」を実施し、環境負荷を低減す る。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲 内でできる限り回避又は低減されているものと評価す る。
		工事の実施 （工事施工 ヤードの設 置）				

表 13-1 (35)環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																	
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																					
人と自然 との触れ 合いの活 動の場	主要な人 と自然と の触れ合 いの活動 の場	存在・供用 （道路（地 表式又は掘 割式）の存 在及び道路 （嵩上式） の存在）			<table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>う回路の設置</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域内及びその周辺</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>う回路の設置を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化を最小限にとどめることができる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table>	実施主体		長野県	実施内容	種類	う回路の設置	位置	都市計画対象道路事業実施区域内及びその周辺	環境保全措置の効果		う回路の設置を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化を最小限にとどめることができる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	
		実施主体			長野県																		
実施内容	種類	う回路の設置																					
	位置	都市計画対象道路事業実施区域内及びその周辺																					
環境保全措置の効果		う回路の設置を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化を最小限にとどめることができる。																					
効果の不確実性		なし																					
他の環境への影響		特になし																					
工事の実施 （工事施工 ヤードの設 置）	＜事後調査＞ 予測手法は都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ等による方法であり、予測の不確実性は小さいと考えられえることから、事後調査は実施しないものとする。																						

環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																																																																																																																																													
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																																																																																																																																																	
文化財	文化財	存在・供用 （道路（地表式又は掘割式）の存在及び道路（嵩上式）の存在）	< 史跡名勝天然記念物の状況 > 計画路線から1km程度の範囲に存在する史跡名勝天然記念物が10箇所存在する。 ●史跡名勝天然記念物の調査結果 <table><thead><tr><th>名称</th><th>所在地</th><th>種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>御座石</td><td>宮田村</td><td>史跡</td></tr><tr><td>六地藏石幢</td><td>駒ヶ根市</td><td>有形文化財</td></tr><tr><td>中越の榎の木</td><td>宮田村</td><td>天然記念物</td></tr><tr><td>下の城</td><td>宮田村</td><td>史跡</td></tr><tr><td>中越遺跡</td><td>宮田村</td><td>史跡</td></tr><tr><td>春近社本殿</td><td>伊那市</td><td>有形文化財</td></tr><tr><td>御殿場遺跡</td><td>伊那市</td><td>史跡</td></tr><tr><td>ヤエヤマツツジ</td><td>伊那市</td><td>天然記念物</td></tr><tr><td>宮ノ花八幡社本殿</td><td>伊那市</td><td>有形文化財</td></tr><tr><td>宝篋印塔（洞泉寺）</td><td>伊那市</td><td>有形文化財</td></tr></tbody></table> < 埋蔵文化財の状況 > 計画路線から1km程度の範囲に存在する埋蔵文化財が16箇所存在する。 ●埋蔵文化財の調査結果 <table><thead><tr><th>名称</th><th>所在地</th><th>種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>駒ヶ原南遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>西垣外遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>大久保遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>つつじが丘遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>狐塚遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>狐塚上遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>下の城跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>城南遺跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>中越下館跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>北の城跡</td><td>宮田村</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>駒ヶ原</td><td>伊那市</td><td>遺跡</td></tr><tr><td>瀬戸古墳群</td><td>伊那市</td><td>古墳</td></tr><tr><td>宮ノ上古墳群</td><td>伊那市</td><td>古墳</td></tr><tr><td>古寺上古墳群</td><td>伊那市</td><td>古墳</td></tr><tr><td>阿原古墳群</td><td>伊那市</td><td>古墳</td></tr><tr><td>洞古墳群</td><td>伊那市</td><td>古墳</td></tr></tbody></table>	名称	所在地	種別	御座石	宮田村	史跡	六地藏石幢	駒ヶ根市	有形文化財	中越の榎の木	宮田村	天然記念物	下の城	宮田村	史跡	中越遺跡	宮田村	史跡	春近社本殿	伊那市	有形文化財	御殿場遺跡	伊那市	史跡	ヤエヤマツツジ	伊那市	天然記念物	宮ノ花八幡社本殿	伊那市	有形文化財	宝篋印塔（洞泉寺）	伊那市	有形文化財	名称	所在地	種別	駒ヶ原南遺跡	宮田村	遺跡	西垣外遺跡	宮田村	遺跡	大久保遺跡	宮田村	遺跡	つつじが丘遺跡	宮田村	遺跡	狐塚遺跡	宮田村	遺跡	狐塚上遺跡	宮田村	遺跡	下の城跡	宮田村	遺跡	城南遺跡	宮田村	遺跡	中越下館跡	宮田村	遺跡	北の城跡	宮田村	遺跡	駒ヶ原	伊那市	遺跡	瀬戸古墳群	伊那市	古墳	宮ノ上古墳群	伊那市	古墳	古寺上古墳群	伊那市	古墳	阿原古墳群	伊那市	古墳	洞古墳群	伊那市	古墳	予測の結果、史跡名勝天然記念物については、10箇所全てにおいて計画路線が離れていることから影響はないと予測される。埋蔵文化財については、16箇所のうち6箇所において計画路線が本遺跡の通過、若しくは近傍を通過予定であり、工事の際に遺跡そのものに一部変化があると予測される。 ●史跡名勝天然記念物の予測結果 <table><thead><tr><th>名称</th><th>直接改変の有無</th></tr></thead><tbody><tr><td>御座石</td><td>-</td></tr><tr><td>六地藏石幢</td><td>-</td></tr><tr><td>中越の榎の木</td><td>-</td></tr><tr><td>下の城</td><td>-</td></tr><tr><td>中越遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>春近社本殿</td><td>-</td></tr><tr><td>御殿場遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>ヤエヤマツツジ</td><td>-</td></tr><tr><td>宮ノ花八幡社本殿</td><td>-</td></tr><tr><td>宝篋印塔（洞泉寺）</td><td>-</td></tr></tbody></table> 注：「○」は直接改変のおそれがあることを示す。 「-」は直接改変がないことを示す。 ●埋蔵文化財の予測結果 <table><thead><tr><th>名称</th><th>直接改変の有無</th></tr></thead><tbody><tr><td>駒ヶ原南遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>西垣外遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>大久保遺跡</td><td>○</td></tr><tr><td>つつじが丘遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>狐塚遺跡</td><td>○</td></tr><tr><td>狐塚上遺跡</td><td>○</td></tr><tr><td>下の城跡</td><td>-</td></tr><tr><td>城南遺跡</td><td>-</td></tr><tr><td>中越下館跡</td><td>○</td></tr><tr><td>北の城跡</td><td>-</td></tr><tr><td>駒ヶ原</td><td>○</td></tr><tr><td>瀬戸古墳群</td><td>-</td></tr><tr><td>宮ノ上古墳群</td><td>-</td></tr><tr><td>古寺上古墳群</td><td>-</td></tr><tr><td>阿原古墳群</td><td>-</td></tr><tr><td>洞古墳群</td><td>○</td></tr></tbody></table> 注：「○」は直接改変のおそれがあることを示す。 「-」は直接改変がないことを示す。	名称	直接改変の有無	御座石	-	六地藏石幢	-	中越の榎の木	-	下の城	-	中越遺跡	-	春近社本殿	-	御殿場遺跡	-	ヤエヤマツツジ	-	宮ノ花八幡社本殿	-	宝篋印塔（洞泉寺）	-	名称	直接改変の有無	駒ヶ原南遺跡	-	西垣外遺跡	-	大久保遺跡	○	つつじが丘遺跡	-	狐塚遺跡	○	狐塚上遺跡	○	下の城跡	-	城南遺跡	-	中越下館跡	○	北の城跡	-	駒ヶ原	○	瀬戸古墳群	-	宮ノ上古墳群	-	古寺上古墳群	-	阿原古墳群	-	洞古墳群	○	< 環境保全措置 > ●環境保全措置の検討結果 <table><thead><tr><th colspan="2">実施主体</th><th>長野県</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="2">実施内容</th><th>種類</th><td>試掘・確認調査及び発掘調査の実施</td></tr><tr><th>位置</th><td>全区間</td></tr><tr><th colspan="2">環境保全措置の効果</th><td>文化財保護法に基づき、関係機関と調整の上、必要となる届出を行い、必要により試掘・確認調査を実施した上で、記録保存のための発掘調査を実施することで、文化財への影響を回避又は低減できる。</td></tr><tr><th colspan="2">効果の不確実性</th><td>なし</td></tr><tr><th colspan="2">他の環境への影響</th><td>特になし</td></tr></tbody></table> ●事後調査 予測手法は、都市計画対象道路事業の実施に伴う改変範囲と文化財の分布範囲を重ね合わせるにより行っており、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	試掘・確認調査及び発掘調査の実施	位置	全区間	環境保全措置の効果		文化財保護法に基づき、関係機関と調整の上、必要となる届出を行い、必要により試掘・確認調査を実施した上で、記録保存のための発掘調査を実施することで、文化財への影響を回避又は低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	< 回避又は低減に係る評価 > 計画路線は道路の計画段階において、文化財の保全の観点から、改変量を極力抑えた計画としており、文化財への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。また、環境保全措置として「試掘・確認調査及び発掘調査の実施」及び「未周知の埋蔵文化財に関する届出及び関係機関との協議、対処」を実施し、環境負荷を低減する。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。
名称	所在地	種別																																																																																																																																																																	
御座石	宮田村	史跡																																																																																																																																																																	
六地藏石幢	駒ヶ根市	有形文化財																																																																																																																																																																	
中越の榎の木	宮田村	天然記念物																																																																																																																																																																	
下の城	宮田村	史跡																																																																																																																																																																	
中越遺跡	宮田村	史跡																																																																																																																																																																	
春近社本殿	伊那市	有形文化財																																																																																																																																																																	
御殿場遺跡	伊那市	史跡																																																																																																																																																																	
ヤエヤマツツジ	伊那市	天然記念物																																																																																																																																																																	
宮ノ花八幡社本殿	伊那市	有形文化財																																																																																																																																																																	
宝篋印塔（洞泉寺）	伊那市	有形文化財																																																																																																																																																																	
名称	所在地	種別																																																																																																																																																																	
駒ヶ原南遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
西垣外遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
大久保遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
つつじが丘遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
狐塚遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
狐塚上遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
下の城跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
城南遺跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
中越下館跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
北の城跡	宮田村	遺跡																																																																																																																																																																	
駒ヶ原	伊那市	遺跡																																																																																																																																																																	
瀬戸古墳群	伊那市	古墳																																																																																																																																																																	
宮ノ上古墳群	伊那市	古墳																																																																																																																																																																	
古寺上古墳群	伊那市	古墳																																																																																																																																																																	
阿原古墳群	伊那市	古墳																																																																																																																																																																	
洞古墳群	伊那市	古墳																																																																																																																																																																	
名称	直接改変の有無																																																																																																																																																																		
御座石	-																																																																																																																																																																		
六地藏石幢	-																																																																																																																																																																		
中越の榎の木	-																																																																																																																																																																		
下の城	-																																																																																																																																																																		
中越遺跡	-																																																																																																																																																																		
春近社本殿	-																																																																																																																																																																		
御殿場遺跡	-																																																																																																																																																																		
ヤエヤマツツジ	-																																																																																																																																																																		
宮ノ花八幡社本殿	-																																																																																																																																																																		
宝篋印塔（洞泉寺）	-																																																																																																																																																																		
名称	直接改変の有無																																																																																																																																																																		
駒ヶ原南遺跡	-																																																																																																																																																																		
西垣外遺跡	-																																																																																																																																																																		
大久保遺跡	○																																																																																																																																																																		
つつじが丘遺跡	-																																																																																																																																																																		
狐塚遺跡	○																																																																																																																																																																		
狐塚上遺跡	○																																																																																																																																																																		
下の城跡	-																																																																																																																																																																		
城南遺跡	-																																																																																																																																																																		
中越下館跡	○																																																																																																																																																																		
北の城跡	-																																																																																																																																																																		
駒ヶ原	○																																																																																																																																																																		
瀬戸古墳群	-																																																																																																																																																																		
宮ノ上古墳群	-																																																																																																																																																																		
古寺上古墳群	-																																																																																																																																																																		
阿原古墳群	-																																																																																																																																																																		
洞古墳群	○																																																																																																																																																																		
実施主体		長野県																																																																																																																																																																	
実施内容	種類	試掘・確認調査及び発掘調査の実施																																																																																																																																																																	
	位置	全区間																																																																																																																																																																	
環境保全措置の効果		文化財保護法に基づき、関係機関と調整の上、必要となる届出を行い、必要により試掘・確認調査を実施した上で、記録保存のための発掘調査を実施することで、文化財への影響を回避又は低減できる。																																																																																																																																																																	
効果の不確実性		なし																																																																																																																																																																	
他の環境への影響		特になし																																																																																																																																																																	

表 13-1 (37)環境影響評価結果の総合的な評価																																																
環境要素 の大区分	項 目		調査結果	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																																										
	環境要素 の区分	影響要因 の区分																																														
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去）	-	都市計画対象道路事業により道路事業実施区域外に搬出する建設副産物は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊がある。 ●廃棄物等の予測結果 [単位：m³] <table><tr><th rowspan="2">種類</th><th>予測値</th></tr><tr><th>発生量</th></tr><tr><td>建設発生土</td><td>約 166, 500</td></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>約 510</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>約 1, 450</td></tr></table> 注：建設発生土は、トラック運搬量を想定し、掘削土をほぐした後の膨張量を加算した量である。 ・建設発生土 建設発生土については、計画路線のほとんどの区間が盛土となり、盛土材の搬入土量が約177万m³、建設発生土（切土量）については、約17万m³が生じるものと予測するが、発生量の全てを事業実施区域内の盛土材として再利用する計画であり、場外へ搬出する建設発生土は生じない。 ・コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊 コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊については、それぞれ約510m³、約1, 450m³が生じるものと予測する。これに対しては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日 法律第104号）に基づき、工事の際には分別解体し、再資源化を図り、再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分する。具体的には、コンクリート塊については、再生コンクリート材に加工し、再資源化を図ることとする。アスファルト・コンクリート塊については、再生アスファルト合材等に加工し、再資源化を図る予定である。再利用できないものについては、関係法令に基づいて適正に処理・処分する。また、これらの建設副産物については、「建設リサイクル推進計画2015（関東地域版）」（平成27年7月 関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会）に定められた再資源化率の目標値を上回るよう再利用・再資源化に努めることとする。	種類	予測値	発生量	建設発生土	約 166, 500	コンクリート塊	約 510	アスファルト・コンクリート塊	約 1, 450	＜環境保全措置＞ 環境保全措置の実施に当たっては、廃棄物の種類や発生量に応じた処理方法及び処分先を工事着手までに決定するよう努める。 ●環境保全措置の検討結果 <table><tr><td colspan="2">実施主体</td><td>長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>工事間流用の促進</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> 実施主体 <table><tr><td colspan="2">長野県</td></tr><tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>種類</td><td>再資源化施設への搬入等による他事業等での利用</td></tr><tr><td>位置</td><td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td></tr><tr><td colspan="2">環境保全措置の効果</td><td>コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の再利用によって発生量を回避低減できる。</td></tr><tr><td colspan="2">効果の不確実性</td><td>なし</td></tr><tr><td colspan="2">他の環境への影響</td><td>特になし</td></tr></table> ＜事後調査＞ 予測手法は、都市計画対象道路事業の実施に伴う建設副産物の発生量及び搬出量を定量的に予測しており、余剰分は関係法令に基づいて適切に処理・処分することから、予測の不確実性は小さいと考えられる。このため事後調査は実施しないものとする。	実施主体		長野県	実施内容	種類	工事間流用の促進	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	環境保全措置の効果		建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	長野県		実施内容	種類	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	環境保全措置の効果		コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の再利用によって発生量を回避低減できる。	効果の不確実性		なし	他の環境への影響		特になし	＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、市街地をできる限り回避した計画としており、建設副産物の排出量は極めて少なく、環境負荷の回避・低減を図っている。また、事業の実施により建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊が発生すると考えられることから、環境保全措置として「工事間流用の促進」及び「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」を実施し、「建設リサイクル推進計画2015（関東地域版）」（平成27年7月 関東地方建設副産物再利用方策等連絡協議会）（P12. 15-3参照）で設定された目標値を上回るように再利用・再資源化に努める。このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。
種類	予測値																																															
	発生量																																															
建設発生土	約 166, 500																																															
コンクリート塊	約 510																																															
アスファルト・コンクリート塊	約 1, 450																																															
実施主体		長野県																																														
実施内容	種類	工事間流用の促進																																														
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺																																														
環境保全措置の効果		建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。																																														
効果の不確実性		なし																																														
他の環境への影響		特になし																																														
長野県																																																
実施内容	種類	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用																																														
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺																																														
環境保全措置の効果		コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の再利用によって発生量を回避低減できる。																																														
効果の不確実性		なし																																														
他の環境への影響		特になし																																														

第 14 章 事後調査

14.1 環境影響評価法に基づく事後調査

環境影響評価法に基づく事後調査の内容を表 14.1-1 (P14-1～3) に示す。関係法令により当該調査の実施主体が定められている場合には、事後調査の実施主体である長野県は実施状況の確認を行う。なお、表 14.1-1 (P14-1～3) に示す以外の項目については、採用した予測手法の予測精度、採用した環境保全措置の効果に係る知見が十分に蓄積されていると判断でき効果の不確実性が小さいことなどから、環境影響評価法に基づく事後調査は実施しない。

表 14.1-1(1)環境影響評価法に基づく事後調査の内容

環境要素の大区分	項目		実施理由	調査項目	調査内容	実施主体
	環境要素の区分	影響要因の区分				
水質	水の濁り	切土工等又は既存の工作物の除去、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、水底の掘削	環境保全措置は、効果に係る知見が十分に把握されていると判断できるが、「仮締切工の実施」については、環境保全措置の効果の内容をより詳細にするため、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときに実施	水の濁り及び水の汚れ	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 浮遊物質量 (SS) 及び水素イオン濃度 (pH) の測定	長野県
	水の汚れ	水底の掘削				
水象	河川	道路(地表式又は掘割式)の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去	採用した予測手法は事業計画及び調査結果に基づいて予測しており、予測の不確実性は小さいと考えられるが、予測結果を検証するため、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときに実施	河川の流量	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 都市計画対象道路事業実施区域が渡河する河川の上流部及び下流部 ○調査方法 河川の流量の測定	長野県

表 14.1-1(2)環境影響評価法に基づく事後調査の内容

環境要素の大区分	項目		実施理由	調査項目	調査内容	実施主体
	環境要素の区分	影響要因の区分				
水象	地下水	道路(地表式又は掘割式)の存在及び切土工等又は既存の工作物の除去	環境保全措置に採用した「通水工法の採用」及び「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」内容をより詳細なものにするため、環境影響が著しいものとなるおそれがあるときに実施	地下水位及び地下水質	○調査時期 供用後及び工事中を基本とすることを考えているが、状況に応じて別途検討する。 ○調査地域 地下水への影響があると予測される地域 ○調査方法 地下水位及び地下水質の観測	長野県
動物	重要な種及び注目すべき生息地	道路(地表式又は掘割式、嵩上式)の存在、建設機械の稼働、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置	繁殖時の営巣中心や行動圏を変える習性があるため、今後、繁殖時の営巣中心等を事業の実施(工事施工)の影響が及ぶ範囲に変えた場合、当該種・個体の繁殖に支障が生じるおそれがあるため実施	営巣中心の移動により繁殖に影響が生じるおそれのある重要な猛禽類(ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ)の生息状況の確認調査	○調査時期 工事中(着工前含む)の調査対象の繁殖期間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類への繁殖の影響が及ぶと予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息状況の確認	長野県
植物	重要な種及び群落	道路(地表式又は掘割式、嵩上式)の存在、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置	環境保全措置は、既存の知見及び事例、専門家等の意見を参考に実施するが、「移植」については、環境保全措置の効果の内容をより詳細なものにするため実施	移植した植物の生育状況調査	○調査時期 供用後及び工事中を基本とし、各種の生活史及び生育特性等に応じて設定する。 ○調査地域 移植を講じた植物の移植先生育地 ○調査方法 移植個体の生育状況(株数、形状・植物高、開花・結実状況等)、並びに生育環境の状況の確認	長野県

表 14.1-1(3)環境影響評価法に基づく事後調査の内容

環境要素の大区分	項目		実施理由	調査項目	調査内容	実施主体
	環境要素の区分	影響要因の区分				
生態系	地域を特徴づける生態系	道路(地表式又は掘割式、嵩上式)の存在、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置に係る生態系	繁殖時の営巣中心や行動圏を変える習性があるため、今後、繁殖時の営巣中心等を事業の実施(工事施工)の影響が及ぶ範囲に変えた場合、当該種・個体の繁殖に支障が生じるおそれがあるため実施	営巣中心の移動により繁殖に影響が生じるおそれのある注目種・群集の上位性の種で重要な猛禽類(オオタカ、ハヤブサ)の生息状況の確認調査	○調査時期 工事中(着工前含む)の調査対象の繁殖期間を基本とする。 ○調査地域 調査対象の猛禽類への繁殖の影響が及ぶと予測される地域 ○調査方法 直接確認による生息状況の確認	長野県

14.2 長野県環境影響評価条例に基づく事後調査

長野県環境影響評価条例に基づく事後調査手続きを実施する。事後調査及び知事意見による調査の実施主体は長野県である。調査等の項目及び手法については、関係機関と連携しながら事業実施段階で検討する。実施に当たっては、詳細計画確定後に条例に基づく事後調査計画書を作成する。